

第三国集団研修評価調査報告書

—インドネシア・家畜衛生—

平成元年12月

国際協力事業団
研修事業部

研 管
J R
89-44

20592

JICA LIBRARY



1080047121

第三国集団研修評価調査報告書

—インドネシア・家畜衛生—

平成元年12月

国際協力事業団
研修事業部



国際協力事業団

20592

序 文

第三国研修とは、社会的、文化的、言語的に共通の基盤をもつ一定の開発途上地域に研修実施国を設定し、そこに当該地域内の途上国からの研修員を受入れ、より現地事情に適した技術・知識の移転を図り、これにより開発途上国間協力の推進に寄与し、将来的には実施国が独自に研修員受入れ事業を実施できるよう協力することを目的としている。我が国は昭和49年度、タイのクラート養蚕研究訓練センターで最初の第三国集団研修を実施したが、以来開発途上国からの第三国研修実施協力要請は年々増え続け、昭和63年度には17ヶ国で40コースの集団研修を実施するに至っている。本報告書は、昭和59年より実施しているインドネシア第三国集団研修「家畜衛生」の5年間にわたる研修の成果を総合的に評価するため、平成元年3月20日から3月30日まで国際協力事業団がインドネシア共和国に派遣した評価調査団の調査結果をとりまとめたものである。

本報告書が関係各位の深い御理解のもとに、本研修の今後のより良い展開に資することを希望するとともに、今次調査に御協力を賜った外務省、在インドネシア日本大使館、農林水産省及びインドネシア共和国政府関係者各位に対し深甚なる謝意を表する次第である。

平成元年12月

国際協力事業団
理事 遠藤英夫



①メダン家畜衛生センター
(メダンDIC)



②協議風景 (於メダン)
向こう側中央 Gunawan
メダンDIC所長



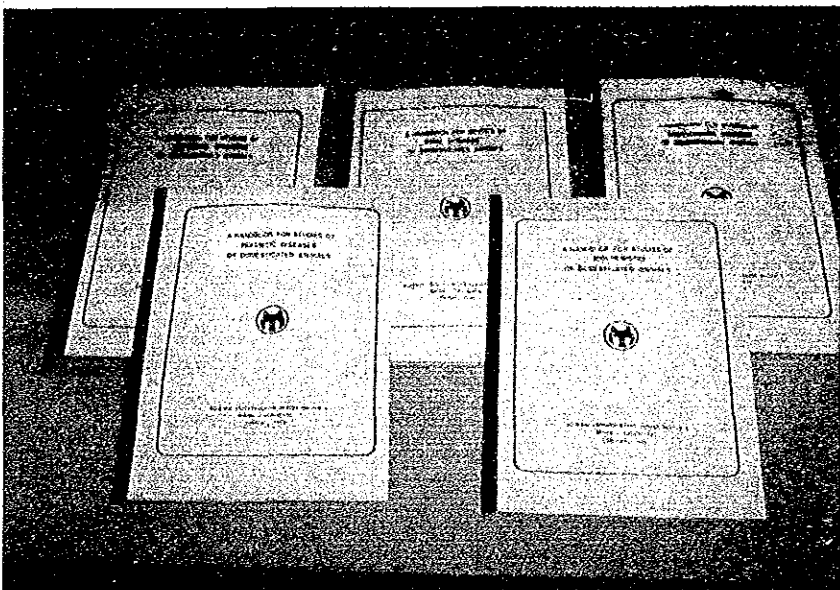
③評価ミニッツ署名
左側Soehadji畜産総局長
右側 武井団長



④メダンDICドミトリー



⑤メダンDIC細菌学
研究室



⑥研修用テキスト

目 次

1. 評価調査団の派遣	1
1-1. 派遣の経緯と目的	1
1-2. 調査団の構成	1
1-3. 調査日程	1
1-4. 主要面談者	2
2. 調査結果要約	3
3. 研修概要と実績	4
3-1. 経 緯	4
3-2. 研修計画	4
3-3. 実施機関	8
3-4. 研修員受入実績	11
3-5. 日本の協力実績	12
4. 評価活動の実績	14
5. 評 価	15
5-1. 研修実施目的	15
5-2. 評価方法	15
5-3. 研修効果	16
5-4. 研修計画	16
5-5. 研修実施機関	18
5-6. 日本の協力	19
6. 総合評価	21
6-1. 研修計画	21
6-2. 研修実施	22
6-3. 日本の協力	22
6-4. まとめ	22
7. 提言等	24
7-1. 計画策定に関するもの	24
7-2. 実施・運営に関するもの	25

(添付資料)

1. 評価ミニッツ	29
2. 評価表	65
3. 評価ポイント	78
4. 討議議事録（昭和59年6月17日付）	82
5. インドネシア農業省畜産総局の継続要請書（平成元年2月27日付）	98
6. 事前ヒアリングに対する各国の回答	100
7. 第1回～第5回参加研修員リスト	102
8. 割当各国における家畜衛生関係者数	108

1. 評価調査団の派遣

1-1. 派遣の経緯と目的

インドネシア、北スマトラ、メダン家畜衛生センター（以下メダンD I C）において、昭和52年度から昭和59年度まで実施されたプロジェクト方式技術協力——家畜衛生改善計画の成果を、周辺国の家畜衛生関係者に移転し、同時に情報交換の機会を与えることにより、広く東南アジア・太平洋地域の家畜防疫に寄与することを目的とし、昭和59年7月17日本件第三国研修（家畜衛生）実施に係るR/Dが署名交換され、同年度より昭和63年度まで毎年1回、計5回のコースが実施されてきた。

本調査団は、本件第三国研修における過去の研修実績と日本側の協力実績を踏まえ、研修全般にわたる総括的評価を先方と合同で行うと共に、研修ニーズの確認を行い、継続の適否を含め今後の本第三国研修の取り進め方について協議するため、昭和63年3月20日から3月30日まで派遣された。

1-2. 調査団の構成

団長・総括 武井秀雄 J I C A 筑波国際センター所長
研修計画 三浦康男 農林水産省家畜衛生試験場九州支場 第三研究室長
協力企画 牧江弘孝 農林水産省動物医薬品検査所 調整指導官
研修運営 岩谷 寛 J I C A 研修事業部管理課

1-3. 調査目的

3/20 (月) 成田 → ジャカルタ
3/21 (火) AM 技術協力調整委員会 (S E C A B) 表敬
PM 農業省畜産総局 表敬・打ち合わせ
3/22 (水) AM ジャカルタ → メダン
PM 在メダン日本総領事館、メダンD I C表敬・打ち合わせ
3/23 (木) AM メダンD I Cスタッフと協議
PM メダンD I C内視察
3/24 (金) AM 総領事館へ報告
PM メダン → ジャカルタ
3/25 (土) AM 農業省畜産総局と第一回協議
3/26 (日) 資料整理・団内打ち合わせ
3/27 (月) 第二回協議

3/28 (火) 第三回協議

3/29 (水) JICA事務所・大使館へ報告、ミニッツ署名
ジャカルタ —

3/30 (木) —→成田

1-4. 主要面談者

(1) 大統領府技術協力調整委員会 (SEECAB)

T CDC担当課長補佐 Mr. Supraputo

(2) 農業省畜産総局

総局長	Dr. Soehadij
衛生局長	Dr. Omik Koswara
“ 調査課長	Dr. I. Gde Sudana
“ 薬事課長	Dr. Tjptarbjo
“ 総務課長	Dr. Hasan Basri Nasution
“	Dr. Eddy Dartoyo
家畜生産局長	Dr. Soedjasmiran
“ 技協課長	Dr. Darman Bachri H.
顧 問	Mr. Paring Asmara

(3) メダン家畜衛生センター

所 長	Dr. I. Made Gunawan
病 理 研究室長	Dr. Suhirjan
寄生虫病 “	Dr. Andre Heryanto
ウイルス病 “	Dr. Herlin Diah S.
生 化 学 “	Dr. Meuthia Zamzami
疫 学 “	Dr. Isti Marquerita

(4) 在インドネシア日本大使館

一等書記官 湯 川 剛一郎

(5) 在メダン日本総領事館

副 領 事 小 倉 春 喜

(6) JICAインドネシア事務所

所 員 米 田 一 弘

(詳(注))
R
① (注)

2. 調査結果要約

調査は、過去の専門家の報告書、在周辺国JICA事務所を通じた事前の調査、毎回のコース修了時に行う研修員へのアンケート調査および今回実施した帰国研修員へのアンケート調査等の分析結果を基に、メダNDIC及びイ国政府関係者との合同評価調査の形で進められた。

その結果、これまでの研修に対する研修員の評価は高く、(1)アジア・太平洋地域における獣医官の家畜疾病の診断に係る技術の向上と同地域における家畜の防疫計画を促進すること、(2)家畜疾病の診断に係る技術の改良及び普及活動を行い、さらに同地域における統括的な家畜衛生防疫計画の強化を図ること、という当初の研修目的は十分達成されたと判断された。また、激しい財政事情にもかかわらず、本第三国研修運営のためのローカルコストの確保に払われた「イ」側の努力は高く評価された。

①②
6月頃
に?

しかしながら、参加研修員数の定員割れ、事前の情報伝達の遅滞、討論の時間の不足等の問題点が指摘され、改善すべき点としてその方策につき協議された結果、G. I. の発送時期を十分前広にするのと同時に畜産局独自のルートによる並行した連絡等の措置により事前情報の周知徹底を図り、ひいては定員の充足を図ること及び、アンケート結果に基づきより研修員の要望にあわせて研修内容を充実させること等の改善策が必要と認識された。

他方、本件第三国研修の継続実施については依然「イ」国及びその周辺国の要望が強く、関係国の研修ニーズを充足するにはいま暫くの研修実施が望ましいと判断された。この結果、割当国にインドとパキスタンを追加した上で、本第三国研修を更に平成3年度まで2年間継続することに日・イ双方が合意した。

▽
実際に延長
平成2年度 --- 1回
平成3年度 --- 1回 > 継続して行う

3. 研修概要と実績

3-1. 経緯

家畜伝染病によって家畜の生命、家畜資源や生産性は脅かされており、このことは開発途上国においてとくに顕著である。国産業の安定的な発展のためには、伝染性疾病の予防、迅速かつ的確な診断、さらには疾病伝播の防止（防疫）等家畜衛生面の改善措置が極めて重要な問題である。

開発途上国の家畜衛生当局では制度、規模組織の差こそあれ、その体制を整えて家畜防疫に努めているが、これら途上国では、家畜の診断、予防、防疫は、社会経済的事情、人材、施設等の理由から、その技術水準は一定していないばかりか、必ずしも精度の高いものではない。

このような状況において、インドネシア政府は、昭和58年6月に開催された第7回日伊技術協力年次協議の結果を踏まえ、同年9月本件家畜衛生分野の第三研修を我が国に要請してきた。

これを受けて我が国は、翌昭和59年に事前調査団を派遣しメダンD I Cにおける第三国研修実施の可能性等を協議した結果、日本の技術協力を通じて蓄積された家畜疾病診断技術及び研修施設をベースに、周辺国の獣医師の技術向上及び家畜衛生に係る情報交換の場としての第三国研修を実施することの意義が確認され、コースのフレームワークが策定された。

同年7月にはR/Dが署名・交換され、翌昭和60年2月に第一回コースが講義、討議、カンントリーレポート発表、研修旅行より成るセミナー方式で実施された。

第二回コース以降は第一回コースの評価にもとずきより参加国研修員のニーズを把握した上で、基礎的診断技術の研修を目的とした個別コースと講義、討論、カンントリーレポート発表、研修旅行等より成る集団コースとで構成される約5週間の研修を実施した。

3-2. 研修計画

(1) タイトル

家畜疾病診断及び防疫計画に関する国際研修コース

(2) 目的

本研修の目的は次のとおり、

(ア) アジア・太平洋地域における獣医師の家畜疾病診断にかかる技術向上と同地域での防疫計画を促進すること。

(イ) 上記技術の改良及び普及活動を行ない、さらに同地域における統括的な家畜衛生防疫計画の強化を図ること。

(3) 研修期間

① 第1回コース：1985年2月3日～2月19日

② 第2回コース：1986年1月26日～3月4日

③ 第3回コース：1987年1月26日～3月4日

④ 第4回コース：1988年1月25日～3月3日

⑤ 第5回コース：1989年1月23日～3月3日

第二回目コース以降は約3週間の個別コースと約2週間の集団コースとから構成された。

(4) 研修日程

第1回目のスケジュール

TENTATIVE CURRICULUM OF THE FIRST-YEAR COURSE

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
				Feb 1	Feb 2	Feb 3
						Arrival at Medan
Feb 4	Feb 5	Feb 6	Feb 7	Feb 8	Feb 9	Feb 10
Opening Ceremony Orientation Introduction Welcome Party	Presentation of Country Reports by Participants -Animal Disease Situation -Diagnostic services -Veterinary Service Organ Structure -Problems in Animal Health Services		Data Analysis and Disease Investigation by Guest Lecturer (Japan) -Other Topic	Field trip to Medan and surrounding	Move to Padang Study trip to Bukittinggi	Observation in Bukittinggi and surrounding
Feb 11	Feb 12	Feb 13	Feb 14	Feb 15	Feb 16	Feb 17
Move to Jakarta and Bandung	Study trip to Bogor and Bandung areas and move to Jakarta		Preparation for final report (Jakarta)	Presentation of final report and discussion on the topic of future program		Observation in Jakarta
Feb 11	Feb 12					
Observation in Jakarta Closing ceremony	Departure Jakarta					

第5回コースのスケジュール (第2回~第5回コースのスケジュールは基本的に同じ)

TENTATIVE CURRICULUM OF THE FIFTH INTERNATIONAL
COURSE ON DIAGNOSIS OF ANIMAL DISEASES AND
THEIR CONTROL PROGRAMME

(January 1989)

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
						22
						Arrival at Medan (Individual Course)
23	24	25	26	27	28	29
-Opening Ceremony -Orientation/Introduction party	General lecture on diagnostic approach on pathology	General lecture on diagnostic approach on parasitology -biochemistry	General lecture on diagnostic approach on bacteriology	General lecture on diagnostic approach on virology	General lecture on diagnostic approach on epidemiology	Free
30	31	1	2	3	4	5
field observation ?? specimen collection	Laboratory work (individual interest)	Laboratory work (individual interest)	Laboratory work (individual interest)	Laboratory work (individual interest)	discussion	free
6	7	8	9	10	11	12
Laboratory work (individual interest)	Laboratory work (individual interest)	Laboratory work (individual interest)	Laboratory work (individual interest)	Laboratory work (individual interest)	discussion	arrival at Medan (Group course)

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
13	14	15	16	17	18	19
<ul style="list-style-type: none"> -Opening Ceremony -Orientation/introduction -The Course -The Indonesian Culture -Livestock Development Programme -Animal Diseases Control Programme -Welcome Party 	lectures on epidemiology & bacteriology & discussion	lectures on parasitology & pathology & discussion	lectures on virology & immunology & discussion	<ul style="list-style-type: none"> -County Repory presentation -Animal Health Services in Japan 	<ul style="list-style-type: none"> Observation Sumatera Province tour in North 	Move to Bali
20	21	22	23	24	25	26
Study tour in Bali	Study tour in Bali Proceed to Surabaya, E. Java	Study tour in Surabaya proceed to Malang	Study tour in Malang proceed to Yogyakarta via Surabaya	Study tour in Yogyakarta proceed to Semarang	Study tour in Central Java	Move to Jakarta
		(March 1989)				
27	28	1	2	3	4	
Observation tour in Bogor/Gn. Sindur	Preparation for individual Report	Presentation Individual Report	Preparation of Group Report (Final Report)	<ul style="list-style-type: none"> -Presentation Final Report -Closing Ceremony 	Departure Jakarta	

(5) 研修形態

個別コース：実験室レベルの診断技術を中心に実習、講義から構成される。

集団コース：セミナー形式で実施され、続いて中央及び地域関係機関並びに施設の見学を行う。

(6) 割当国

ブルネイ、マレーシア、フィリピン、タイ、ビルマ、バングラデッシュ、スリ・ランカ、ネパール、ブータン、PNG、フィジー、西サモア、ソロモン諸島、バヌアツ（計14カ国）

(7) 定員

個別コース：割当国から5名、イ国から2名

集団コース：割当国から15名、イ国から5名（個別コース参加者を含む）

(10) 参加者の資格

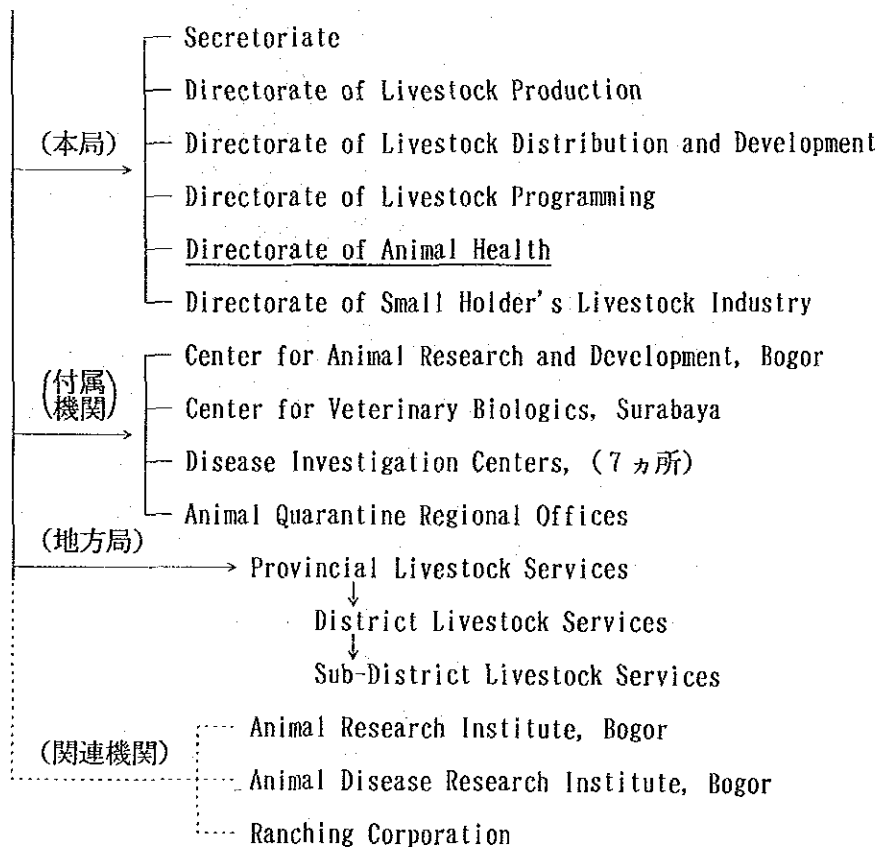
個別コースへの参加者は家畜衛生あるいは家畜疾病診断の業務に従事しており2年以上の経験を有する者とし、集団コースのみへの参加者は家畜衛生分野の行政業務に5年以上従事している者とする。

3-3. 実施機関

(1) 組織図

家畜総局の構成は次のとおり。

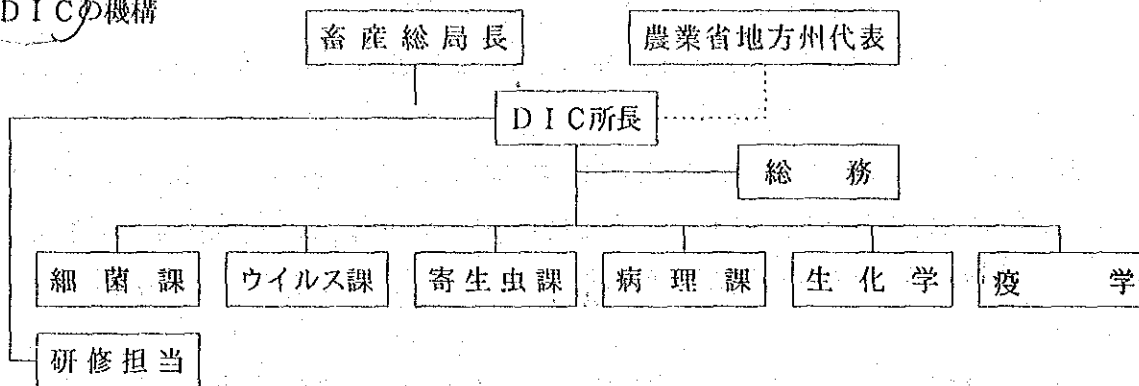
Directorate General of Livestock Services



Domestic animal

衛生 sanitary

DICの機構



イ側はコースの円滑な運営のため、国産総局の内部機関として The Steering and Organizing Committee を設立し、同委員会が実施計画の策定、参加者の募集、選考手続き、期間中の関係部局の連絡、コースレポートのとりまとめ等を行った。

メダンDICにおけるスタッフリスト (1989年3月現在)

- メダンDIC所長 Drh. I Made Gumawan.
- 細菌学研究室 Drh. Seryowati (室長)
Ir. Mahmud A. Gani
Alfi Azmi
- 疫学研究室 Drh. Rr Isti Marqueritta (室長)
Drh. Gazwa Mettilia Hakim
- ウイルス学研究室 Drh. Herlin Diag S. (室長)
Susanna Iriyani Sitepn
Amri
Herminta Purba
Rosmina Sinurat
- 寄生虫研究室 Drh. Andre Heryanto (室長)
Amir Yazid
Sejahtera Sembiring
Samerita Bangun
- 病理学研究室 Drh. Suhirjan (室長)
Cut. Hermawaty
Bisman
Jumari
- 生化学研究室 Meuthia Zamzami (室長)
Dahlia Ketaren

(2) 研修指導

① 講師：（イ側講師リストはミニッツANNEX V参照）

(ア) 個別コースにおける講義と実習指導はメダンDICの所長と各研究室長が分担して担当した。

(イ) 集団コースにおいては、イ国における畜産及び家畜衛生分野の紹介を畜産総局内の関係部局の行政官が行い、各専門分野の講義と討議をボゴール農科大学、カジャマダ大学、ボゴール家畜衛生研究所の教官及び研究者（毎回3～4名）が分担して担当した。

② 教材

ウィルス病、細菌病、寄生虫病、病理及び生化学の分野別の英語テキストと実験室における疾病診断マニュアルがあり、個別コースにおける講義と実習に活用されていた。集団コースにおける各講義は、担当する講師が個別にレジメ等を用意していた。

これとは別に、プロ技術協時代に供与された日本語のビデオテープがあり、日本人専門家により利用された。

③ 資機材

昭和60年度単独機材供与として約2千万円の機材及び試葉類が供与され、又昭和62～63年度に実施されたプロジェクトのアフターケアプログラム期間中に計約2,000万円の機材及び試葉が供与（一部は本調査の時点で購送手続き中）されたこともあり、本第三国実施期間中コース実施に必要な資機材はほぼ十分準備された。

④ 評価方法

毎回コース終了時に研修員に対しアンケート調査を行い、本コースの成果、運営管理上の問題点及び研修員のニーズをチェックした。

(3) 研修運営

① 受入手続き

コースの準備は毎年7月頃より開始されG. I. は外交ルートを通じ毎年9月に発送されていた。イ国公館のない割当国（ブータン、ネパール、フィジー、西サモア、バヌアツ）へは、第三国（インド、オーストラリア）を経由してG. I. を送付し、併せてこれらの国への連絡にはJICA事務所が協力した。

② 運営管理

計画策定、事前準備、研修員の応募手続選考手続、宿泊の手配、交通の確保等は、Steering and Organizing Committeeを要して各係部局は協力して円滑に実行された。

③ 生活環境

周辺国からの参加研修員はメダン市内のホテル（1泊約25ドル）に宿泊し、イ国人研修員はメダンDIC内のドミトリーに宿泊した。研修旅行中は両者は同宿した。

周辺国からの参加研修員に対する滞在日は1日50ドル（日本側負担）であり、イ国人研修

員に対してはインドネシア政府より全期間の滞在費として300,000 ルピーが支給された。

④ 予算措置 (イ側予算実績表はミニッツのANNIX III参照)

中央政府の予算は1987年度より技術協力調整委員会の持つTCDC向け予算に計上されるようになり、現在第三国研修の数が多い(5コース)ことや財政状況の悪化等の事情もあって予算措置極めて厳しい状況下にある。このような中で、イ国人研修員の交通費や滞在費の面で不満が聞かれたが、研修の運営管理面のローカルコストに関しては、イ側はその確保に最大限の努力を払っており十分な予算措置がなされた。

3-4. 研修員受入実績

過去16ヵ国から計75名を受入た。(資料⁷参照)

NUMBER OF PARTICIPANTS ACCEPTED TO THE COURSE

Japanese fiscal year	1984	1985	1986	1987	1988	Total
Bangladesh	2	1			1	4
Bhutan		1			1	2
Burma		1				1
Burnei			1			1
Fiji		1				1
India				1		1
Malaysia	2	2	1	2	2	9
Nepal				1	1	2
Pakistan				1		1
Papua-New Guinea						0
Philippines	2	2	2	2	2	10
Solomon Islands		1		1		2
Singapore			1			1
Sri Lanka	1	1	2			4
Thailand	2	2	2	2	2	10
Vanuatu						0
Western Samoa	1		1	1		3
Sub total (1)	10	12	10	11	9	52
Indonesia (2)	5	5	5	4	4	23
Total (1)+(2)	15	17	15	15	13	75

(Remark 1) India, Pakistan and Singapore are not regular inviled countries mentioned in the Record of Discussion signed 1984.

(Remark 2) The year on this table is Japanese fiscal year. (Apr/Mar.)

3-5. 日本の協力実施

(1) 経 費

日本の協力実績は以下の表のとおり。

年 度	研修実施経費 (千円)	短 期 専 門 家 派 遣			日本受入れ カウンターパート (人数)	単独機材供 与 (千円)	計
		人数	派遣諸費 (千円)	携行機材費 (千円)			
1984	11,161	1	583	-	2	-	11,744
1985	10,592	2	1,457	1,247	1	19,879	33,175
1986	9,079	2	2,084	1,415	-	-	12,578
1987	8,596	1	978	-	-	-	9,574
1988	8,260	1	995	251	-	-	9,506
計	17,688	7	6,097	2,913	3	19,875	76,577

(カウンターパート受入れに要した費用を除く)

(2) 専門家派遣 (ミニッツのANNX II参照)

イ側からは毎年2名(昭和63年度は1名)の専門家派遣要請があり、その要請内容に従って次の専門家を派遣した。但し昭和59年度と昭和62年度はそれぞれ候補者の健康上の理由及び手続きの遅れ等により各1名の派遣にとどまった。

年 度	氏 名	派 遣 期 間	分 野	所 属
59	吉村史郎	S. 60. 2. 4~60. 2. 11	家畜衛生	農水省畜産局 衛生課
60	沢田拓士	S. 61. 2. 1~60. 2. 19	細菌学	農水省 動物医薬品検査所
	小川 孝	S. 61. 2. 9~60. 3. 6	疫学	農水省 家畜衛生試験場
61	小材幸雄	S. 62. 1. 28~62. 3. 3	疫学	農水省 家畜衛生試験場
	明石博臣	S. 62. 2. 15~62. 3. 7	ウイルス 学免疫学	群馬県 家畜衛生研究所
62	中沢宗生	S. 63. 2. 9~60. 3. 4	細菌学	農水省 家畜衛生試験場
63	徳久修一	H. 1. 1. 24~ 1. 3. 7	疫学	農水省 家畜衛生試験場

専門家の業務内容は、専門分野の講義を担当するだけでなく、必要に応じてラボ実習への実地指導および討論への参加等を行い、研修全般にわたり専門的見地より助言、指導を与えることである。

(3) カウンターパート (C/P) 受入れ

本第三国研修にかかるC/Pとして日本に受け入れた者は次のとおり。

Japanese fiscal year	Name	Duration
1984	Ronny Mudigdo (Chif, Bacto. Section, Medan DIC)	4/12/84 - 28/12/84
	Sofyan Sudardjat (Head, Sub-Directrate of Animal Disease Control)	4/12/84 - 28/12/84
1985	Soenardi (Director, Bukittingi DIC)	3/12/85 - 25/12/85

この他に、メダンDICの現在の主要スタッフ6名中4名は、日本における個別あるいは集団コースに参加した経験を有する。

(4) その他

インドネシア国における家畜衛生分野の技術協力専門家は、本第三国研修の実施に関しては全面的に支援する体制をとっており、特にコース準備段階における動物医薬品検定計画の緒方チーフアドバイザー他の助言、指導やメダンDICの家畜衛生改善計画アフターケアプログラムの北野長期専門家のコーディネーター的協力は本コースの円滑な遂行に不可欠なものであった。

4. 評価活動の実績

4-1. 研修管理調査団の派遣

セミナー形式で行われた第一回コースは、二回目以降の研修テーマ等を選定することを目的の一つとしており、第二回目以降のコースの研修計画を充実させるためには第一回コースの徹底した評価が肝要との認識に立ち、研修管理調査団が昭和60年2月15日から10日間派遣された。

第一回コースの参加研修員との懇談、クエスチョネアーの分析、及びイ側関係者との協議の結果、次年度コースのテーマ及び技術レベルの設定がなされた。第二回目コース以降第五回コースに至るまで、基本的にはこの研修管理調査団が詰めた内容で本研修をは運営されてきた。

5. 評 価

5-1. 研修実施目的

本研修コースの目的は、次の(1)及び(2)であった。

- (1) アジア・太平洋地域における獣医官の家畜疾病の診断に係る技術の向上と同地域における家畜の防疫計画を促進すること。
- (2) 上記技術の改良及び普及活動を行い、さらに同地域における統括的な家畜衛生防疫計画の強化を図ること。

そして、本研修は、個別コース及びこれに続く集団コースから成り計5回実施された(第1回目は、集団コースのみ実施)。参加国は、インドネシアを含めて15ヶ国、参加研修員数は、のべ75名であった。本研修の評価を5-2の評価方法により行った結果、5-3以下で述べるように研修員の評価も高く、本研修の実施目的は、十分達成されたと言うことができる。

5-2. 評価方法

本研修コースの研修効果、研修計画の妥当性、研修実施機関の研修指導体制及び研修運営体性、日本側の協力方法等の項目について個々に評価し、その結果を取りまとめて総合評価を行うために次の評価方法がとられた。

- (1) メダンD I Cへ派遣されたJ I C A専門家の報告書を分析する。
- (2) 昭和60年度に派遣されたJ I C Aの第三国研修管理ミッションの報告書に記載された評価結果を分析する。
- (3) 研修割当国の本研修に対する今後の参加の意向を各J I C A事務所を通じて調査する。(添付資料6参照)
- (4) 集団コースの修了時にその研修の評価のために実施された、研修員へのアンケート結果を分析する。(添付資料1のミニッツANNE X VI参照)
- (5) 本件評価のために実施した、本研修コースの帰国研修員に対するクエスチョネア(質問書)への回答内容を分析する。(添付資料1のANNE X VII参照)
- (6) 在インドネシア国大使館(メダン日本国総領事館)及びJ I C Aインドネシア事務所から本研修についてコメントを聴取する。
- (7) 本調査団は、上記(1)~(6)の分析、聴取結果等をふまえ、メダンD I C及びインドネシア国政府側との協議の場で総合評価を行う。なお、協議に際し、評価シートを用意し、各項目についてそれぞれの立場から意見を出し合い、より客観的な評価結果を得るよう努めた。(添付資料1のANNE X VIII、資料2, 資料3参照)

5-3. 研修効果

本研修コースでは、アジア及び太平洋地域において共通にみられる家畜疾病の診断技術及び防疫に関する講義、実習、カンントリーレポートの発表及び視察旅行が実施され、さらに各研修科目の中で討論及び情報交換が行われた。その結果、診断技術及び防疫方法の修得とともにアジア及び太平洋地域における家畜疾病の状況を相互に認識し、同時に、各国の友好関係も強化され、研修目的は十分に達成された。

本研修の効果に対する評価の概要は、以下のとおりである。

(1) 研修修了時における研修員への質問書に対する回答（添付資料1のANNEXVI参照）

インドネシア国畜産総局は、本研修を実施するために運営組織委員会を設置した。同委員会は、1985年会計年度（第2回）から1988年度会計年度（第5回）までの研修修了時に、本研修に対する質問書の回答を研修員から得た、それによれば、83.6%の者が、研修の目的を達成したと答え（添付資料1 ANNEXVIの番号1-2）を参照。以下「VI-1-2」というように略す。）、また、86.4%の者が、研修で得た技術と知識の多くを応用できると答えていた（VI-III-2）。さらに、94.9%の者が、十分な研修効果があったと答えた（VI-V-1）。

(2) 帰国研修員への質問書に対する回答（添付資料1のANNEX VII参照）

運営組織委員会より第1回から第4回までの4年間の研修^員（62名）に対し質問書が発出され、20名（うち8名はインドネシア国）の回答を得た。それによれば85%の者が、研修で新しい知識を得（VII-II-(1)）、60%の者が、技術の向上があったと回答している（VII-II-(2)）。また、55%の者が、研修前に期待した技術と知識を大いに学習することができたと答え（VII-II-(3)）、70%の者が、研修で得た知識、技術及び経験を大いに仕事に活用している（VII-II-(4)）。

(3) 研修に係る日本人専門家の評価

日本人専門家の報告書を分析したところ、ニュアンスの多少の相違がみられるものの、集約すればほぼ効果のある研修であったと判断された。

(4) 参加各国の評価（添付資料6参照）

本研修に参加した各国の評価は、概ね有益で効果のある研修とみなされた。

なお、インドネシアをはじめ、バングラディシュ、マレーシア、パキスタン、フィリピン、西サモアの国々が、研修の継続を希望した。

(5) 総合評価（添付資料1のANNEXVIII、資料2、資料3参照）

各国の家畜衛生事情の差異に考慮しつつ(1)~(4)の調査結果をもとに総合的に評価したところ、良好な結果が得られた（VIII-10、11及び12各85点）。

5-4. 研修計画

アンケート及び質問書に対する研修員の回答を中心に、現地研修機関及び畜産総局と協議した

結果から結論される評価は、以下のとおりである。

(1) 期間・時期 (Ⅷ-1で90点)

かなりの研修員が、期間が短いと回答した (Ⅵ-Ⅱ-5) で42.9%、Ⅶ-Ⅲ-1-(1)で44%、Ⅶ-Ⅲ-2-(1)で20%)。しかし、メダンドICは、本来業務と並行して本研修を実施しており、計画した研修期間が最大限可能な期間であった。また、背景が異なる研修員それぞれの要求をすべて満たすことは無理である。

おな、雨季のため、視察旅行に支障をきたす場合があるとの意見があった。

(2) カリキュラム

① 構成 (Ⅷ-2-aで85点、Ⅷ13-bで95点)

討論時間が不足という意見がある (Ⅵ-Ⅱ-3) で47.6%) が、全体的には適当であった。なお、従来の研修期間内で、討論時間を充実させることは可能である。また、必要であれば、外部から講師を招くことも可能である。

さらに、参加各国の要望を把握し、これに応じていく必要がある。

② 研修レベル (Ⅷ-2-bで95点)

研修レベルは、研修員を十分に満足させた (Ⅵ-Ⅱ-2) で85.9%以上)。

③ 研修範囲 (3-2-c及びdで各95点)

研修範囲も、研修員を十分に満足させた (Ⅵ-Ⅱ-1) で89.0%以上) 。これは、研修効果が十分であったという回答 (Ⅵ-V-1) で94.9%) からも裏付けられた。

④ 研修形態

ア 個別コースと集団コースとのバランス (3-3-aで80点)

個別コース及び集団コースの内容について、それぞれほぼ満足すべき結果が得られており (Ⅶ-Ⅲ-1-(2)で100%、Ⅶ-Ⅲ-2-(2)及び(4)で95%及び80%)、研修のバランスは、適当であると考えられた。しかし、前述のとおり、討論を充実させる必要がある。

イ 個別コース (Ⅷ-3-bで90点)

講義、実習ともに適当と考えられた。今後、より専門的な分野に対応するために、ボゴールの家畜衛生研究所、日本人専門家等の外部講師の助力も必要である。

ウ 集団コース (Ⅷ-3-cで80点)

ワークショップ、視察旅行ともに適当と考えられた。しかし、参加各国に適応した防疫計画に関する討論の機会を増していれば、より価値のある研修となったであろう。

(3) 割当国 (Ⅷ-7で100点)

割当国の範囲は、妥当であった。なお、過去5回でパプアニューギニア及びバヌアツの参加実績はないが、研修目的を踏まえ、引き続き参加を要請すべきである。また、インド及びパキスタンから強い参加希望が寄せられていた。(資料6参照)

(4) 定員 (Ⅷ-8で80点)

計画された研修員の割当数は、妥当であった。しかし、関係各機関の努力にもかかわらず、これまでの研修において、定員を満たすことができなかった。

この理由としては、研修員募集にかかわる時間的要素やルート (5-5(2)の①) や割当国内での情報伝達の遅滞等の事情が考えられる。

また、その一方で、一部の割当国では公的機関に所属する獣医師・家畜衛生関係技術者が少なく、現段階では既にかかなりの程度その研修ニーズを充足しつつあると考えられる国も存在する。

(資料8参照)

(5) 応募資格 (Ⅷ-9で95点)

計画された応募資格は、適切であった。ただし、例外として、ブルネイから獣医官でない者1名の参加があった(同国は、本来獣医師が少ない 資料8参照)。研修成果を十分なものにするため、今後も、現行の応募資格が適当である。

5-5. 研修実施機関

本研修コースは、主に北スマトラ州のメダンD I Cで実施された。また、運営組織委員会が中心となって、本研修が運営された。

(1) 研修指導能力

メダンD I Cは、1977年7月から5年間、家畜衛生診断技術の向上を目的としてインドネシア家畜衛生改善プロジェクトの技術協力が実施された。その後も、家畜衛生改善計画(82年7月~84年7月)、家畜衛生改善計画アフターケア(87年4月~89年3月)が実施されてきた。この間多くの日本人専門家が派遣され、また、多くのカウンターパートが日本で研修を受けた。これらの実績を踏まえて1984年度から本研修コースが開設された。本D I Cのスタッフは、かなり高度の専門知識・技術を有し、研修指導能力は十分であると評価された。また、当D I C以外のインドネシア側講師に対する研修員及び派遣専門家の評価は高かった。

① 講師 (Ⅷ-13-cで95点)

語学力(英語)若干の問題があるが、講師の技術面、教授方法での問題はなかった。

② 教材 (Ⅷ-4で95点)

ウイルス病、細菌病、寄生虫病、病理及び生化学の分野別に英語のテキストが、メダンD I Cにより本研修用として作成されていた。これらの内容は、十分かつ簡潔であった。

その他の教材は、ほぼ揃っていたが、テキストの内容に対応した試薬、器材の一層の充実が望まれる。なお、日本語のビデオテープが供与されているが、英語の解説書があれば、より効果的な教材となったであろう。

③ 機器 (Ⅷ-5で100点)

これまでの第三国研修を実施した限りにおいて、機器に関する問題はなかった。今後、実

験用機器を維持管理し、一層充実させることが必要である。

④ 設備 (Ⅷ-6で100点)

これまでの第三国研修の参加実数(13~17名/回)の範囲において、設備に関する問題はなかった。

(2) 研修運営管理能力

研修員に対する質問書、専門家の報告及び先方関係者との協議の結果から判断すると、研修の運営管理は、正式な準備、各段階における予算、人員、器具・器材、研修計画及び研修管理の手配に関して能率的に行われた。しかし、各国において十分な準備を行うために、通知の発送を早める必要があると思われた。

① 受入手続 (Ⅷ-13-aで70点)

G Iは、外交ルートを通じて毎年9月に発送されていた。しかし、インドネシア国公館のない国(ブータン、ネパール、フィジー、西サモア、バヌアツ)へは、第三国(インド、オーストラリア)を経由せざるを得ず、また、割当国内での情報伝達の遅滞も存在し、事前に研修内容を周知できなかった者がいた(Ⅵ-1-1)で22.5%)。今後は、G Iの送付を早める、畜産総局独自のルートによる並行した連絡等の措置により事前情報の周知徹底をはかるべきである。

② 運営管理 (Ⅷ-13-dで95点)

宿泊の手配等は、問題なかった(Ⅵ-IV-1~8)。

③ 予算措置 (Ⅷ-13-e及びfで各100点)

インドネシア側の厳しい予算状況下にもかかわらず、過去5回の研修は、計画どおり実施された。

5-6. 日本の協力

本研修に対する日本の協力は、R/Dに基づき実施された。本研修が、大筋で実施目的を達成することができたのは、日本側の協力とインドネシア側の努力とが有機的に組み合わせられた結果であるということができる。

日本の協力に対する評価結果は、以下のとおりである。

(1) 経費 (Ⅷ-14-c及びdで各100点)

日本側は、研修運営上十分な経費を負担した。

(2) 専門家派遣 (Ⅷ-14-aで95点)

専門家の分野、資格は十分であったが、一部で、若干の語学上の問題があった。また、2名の派遣要請がなされても、1名のみ派遣された例があった。今後、研修をより充実させるために余裕のある派遣期間を設定することが望ましい。

(3) カウンターパート（C/P）受入れ

本研修のために、日本に受け入れたカウンターパート3名中2名は、直接、本研修に関係せず、残りの1名も既に転出していた。しかし、メダンD I Cの現在の主要なスタッフ6名中4名は、何らかの機会に日本での研修経験を有し、その成果を本研修に活用していた。

したがって、本研修に限ってC/P受入れの評価をすることは、不可能であった。

6. 総合評価

6-1. 研修計画

畜産業の生産性向上は、農業を基幹産業とする本件第3国研修計画参加各国にとって、重要な課題であり、これを推進するための基本的プロセスとして、畜産資源の損失の防止、生産性の阻害要因の除去を大きく可能ならしめる家畜疾病の診断技術の向上と防疫計画の強化・実施促進を目的とした本件計画の設定は、当該地域の要請に適確に応えるものである。

既に各論において述べたように、本件計画の研修実施目的（5-1）に照らして、今回採用の評価方法（5-2）により検討の結果、研修の目的は十分に達成された（5-1及び5-3）と判断された。

研修目的（具体的には目標）に到達するための研修計画の評価については、期間・時期、カリキュラムの内容・構成、並びに実施形態に関して、類似の環境にあるとはいえ、異なった国々から異なった背景をもつて参加した研修員の大多数が、これを妥当（5-4（1）～（2））とし、いかなる事業においても最も肝腎なアウトプット、ここで研修成果、即ち修得した知識・技術の応用度が高い（5-3（1）～（2））と回答している事実から見て、本件計画に与えられた条件の下では、以下の視点による考察を含めて、研修計画は妥当であったと評価できよう。

真の研修効果は、学んだものが実際に活かされ、効果を生んで始めてその効果が確認されることとはいうまでもないが、応用度が高いとの研修員の評価は、コース終了時のそれもさることながら、研修の成果を携えて帰国し、これを夫々の現場に結付けての帰国研修員の回答は、かなり重みを持つ。重みの解釈については、クエスチョネアの回収率が低い（32.2%）ことから、独善に過ぎるとの指摘もあろうが、この程度のパーセンテージから一応の結論を引出す例は、他にも多くあることからすれば、あながち当を得ていないとも言切れないであろう。

割当国のうち、2ヶ国は参加実績がないが、畜産の振興を必要としている限り、本件計画の価値を否定するものではない。当該国にとっての募集のタイミングの適否、業務の関連における人選の難易、行政能率の高低等理由は諸々考えられる。理由を明らかにしないまま、ただ不参加であったが故に、門戸を閉ざすべきでないとの意見を不側も持つており、地域全体の利益享受の観点からすれば、国別割当自体は妥当と判断（5-4（3））できよう。

定員枠の設定そのものは、投資効率の観点並びに対象国の研修需要の存在から見て妥当と考えられる。しかしながら、結果として定員割れがあったことは事実として認められるわけであるが、このことは募集にかかわる時間的要素やルート（5-5（2）の①）、割当国内での情報伝達の遅滞並びに人のやりくりの事情等の要員が影響していると考えられる。定員確保は、募集手続の工夫によってかなりの改善が期待できると思われるが一部の割当国では現段階での研修ニーズは既に充足されつつあるとも考えられる。

応募資格は、本件計画が診断技術の向上と普及並びに防疫計画の強化・促進を目的としていることから、家畜衛生に従事する上級獣医士であることを基本要件としている。目的／機能を果たすためには、右の要件設計は妥当であり、1件の例外を除き、参加研修員全員がこれを満たしていた（5-4 (5)）。

6-2. 研修実施

本件計画の目的に沿う成果をつくりあげるための入力・出力変換行動としての実施の面でも、総じてこれを高く評価することが妥当である。

わが国の協力による家畜衛生改善計画プロジェクトが与えたインパクトや、イ側の自助努力もあって、かなり優秀な教授陣が実際に當っており、研修指導能力は高い（5-5 (1)）と認められる。

情報媒体たる教材は、内容的に十分かつ簡潔（5-5 (1)の2）なものが使用されている。

機器・設備についても、これまでの実績に照らしてみても問題は存在しなかった（5-5 (1)の3~4）。

運営管理の点でも、とりわけ国家財政が厳しい状況のなかで、計画的に事が運ばれてきたことは高い評価に値しよう（5-5 (2)）。

本計画は、中央政府レベルのプロジェクトであるが、北スマトラ州が多大な関心を示し、予算面でも支援していることも本計画の円滑な実施に大きく貢献している。

6-3. 日本の協力

日本の協力に対し、イ側は感謝の意を厚く表している。

専門家の派遣に関して、人数、時期、語学上のことについて、イ側から若干の指摘（5-6 (2)）があったが、わが国の援助による施設・機器及び経費については十分な手当てがなされており、またJICA在外事務所を含めJICAとの連携も円滑に機能している。更に、わが方メダン総領事館が本計画に対しても常に意を注いでおり、直接間接に指導・支援に當って来ている。

イ側の高い評価、とりわけ本計画の成果に鑑み、今日に至るわが方の協力は成功と判断して間違いないと思われる。

特記すべきは、動物医薬品検討計画の緒方チーフアドバイザーを初めとする。日本人専門家及び家畜衛生改善計画アフターケアの北野専門家による的を得た助言・指導は、本第三国研修の円滑な運営にあたり極めて肯献度の高いものであったことである。

6-4. まとめ

本件計画の評価に当たっては、なるべく客観的な評価結果を得るように努め、可能な限りの情報・考察をもとに、イ側と共同して行った（5-2）。

評価の対象としては、本件計画の目的／機能、対象国並びに研修員、研修の成果、研修実施手順、物理的、社会的要因を含む環境、指導要員、管理運営、ハード並びにソフトウェア等を取上げて、評価を行った。

評価のポイントは、本件計画が計画目的に沿って効果をあげ得たか否かにあるが、既述のように、帰国研修員の高い評価、本件計画に直接／間接に携わった日本人専門家の見立て、過去の実績を多とするとともに今後もその必要性を認める主要参加国の期待表明等からして、本件計画は立派な成果を生んだ成功プロジェクトと位置付けされよう。かかる成果は、これをつくりあげるシステムとして、日本の協力と、これに対するイ側の努力を基に、上述の諸要素が相互に関連し合いながら有効に働いた結果であり、従ってそれぞれを高く評価して間違いないであろう。

しかしその一方で、事前インフォメーションの難しさや一部の国での家畜衛生関係技術者の少なさ等のマイナス要因により定員充足率が必ずしも良好でない過去の実績を考慮し、現行の研修を無条件に継続できるとは判断できず、確実にニーズの存在するインド、パキスタン2国を、新割当国として追加し今後2年間に限り実施するのが妥当との結論に達した。

7. 提言等

7-1. 計画策定に関するもの

(1) 研修ニーズの把握・確認

今までの研修実績は高く評価されるものであるが、参加各国の状況の変化や技術革新の動きに対応し、より効果的な研修を実施するため、これまでの成果を踏まえながら最新のニーズの把握・確認が必要であろう。やり方は種々あろうが、諸々の制約を考える時、現実に直ぐにも実行可能な方法としては、必要な情報の提供を研修員に義務づけることも考えられよう。

(2) 日本の協力終了後の本件計画継続の可能性

わが国の協力が終了した以降、唯一最大の問題である財政事情から、イ側が独自で継続することの可能性は極めて薄いと思われる。イ側は5年間の延長を強く希望していたところ、わが方の説得もあって3年短縮の2年延長に合意した経緯がある。

基本的課題として、T C D Cの精神をいかにして生かすか、また、研修ニーズに立脚した当該計画の質と量並びに所要年数を明確に設定することの2点があげられよう。勿論、容易でない四圍の条件の見極め前提となるが、延長を含めて協力期間を他の計画との横並びの関係において、ほぼ一律的に決めるのではなく、条件に応じ夫々の計画に夫々妥当な期間設定がなされるほうがむしろ自然かもしれない。

(3) 対象地域の拡大

インド、パキスタンが新たに割当て国に加えられたが、イ側は更に東アフリカ地域（具体的にはケニア、タンザニア）をも含めたいとの意向を表明している。本調査団は、これを協議する立場にないため聞くにとどめたが、外交上また専門的にも検討の要ありと思われるので、この点、関係要路に報告しておきたい。

(4) 国別割当数と定員の関係

投資効率からみて定員15名は妥当である。定員割れは決して好ましいものではない。わが国の集団コースを例にとれば、国別割当数は定員に割増し率がかけられているところ、本件計画の場合、対象国数と定員はほぼイコールにおかれている。(4-5 (2)の(1))で述べた背景や、この種の事業に経験が極めて薄いイ側が事に当たっていることを考慮に入れば、定員割れを防ぎ歩留りを高めるためにも、しかるべき割増し率の適用あるいは1ヶ国複数応募の制度化も考えられよう。

東アフリカが対象地域に組入れられても、定員割れの問題は小さくなるものと思われる。

(5) マレーシア家禽プロジェクトとの関係

上記プロジェクトとの関係において、一応、両者の区分はなされているが、混乱を避けるため、これを明確に周知徹底させる必要があるだろう。

7-2. 実施・運営に関するもの

(1) 研修参加の促進

対象国の研修員派遣の親元機関及び研修員／候補者に十分な用意・対応を可能ならしめるため、G Iの前倒し早期発送と共になんらかの手立てが必要であろう。

このことについては、上記発送措置並びにイ側畜産局長名による関係国への働きかけの用意がある由であるが、これの実行を促進する必要がある。

(2) G Iの内容の改善

本件計画の目的は明確であるが、研修の内容については目標をより具体的にし、連動してその内容構成を提示して、応募前に十分な認識を持たせるよう従来のもの見直しが必要であろう。

(3) 技術革新の対応

新しい有効な技術・情報のとりいれは常に求められる。イ側の努力は勿論であるが、情報の発信地たるわが国の支援も欠かせないであろう。短期専門家の派遣は、少なくとも1名を出来れば研修の全期間にわたり家畜疾病診断全般にかかるアドバイザーたりうる人材を継続して派遣する必要がある。なお、その際に、イ側で入手困難な薬品等を携行機材として供与することが要求される。

(4) イ側研修員の参加経費の負担

イ側の財政事情並びに他国研修員との待遇格差をなくすため、これの所要経費の援助をイ側は強く要望している。イ側の自助努力を求めると共に、他第三国研修計画とのバランス、同計画の設置要請の増大、機会均等の配慮等々を理由に本件計画についてのみ特別なあつかいは無理なる旨説明しおいたところ、イ側は一応の理解を示したことを付記しておく。

(添付資料)

1. 評価ミニッツ
2. 評価表
3. 評価ポイント (資料1中ANNEX VIIに対応)
4. 討議議事録 (昭和59年6月17日付)
5. インドネシア農業省畜産総局の継続要請書
(平成元年2月27日付)
6. 事前ヒアリングに対する各国の回答
7. 第1回～第5回参加研修員リスト
8. アジア・太平洋諸国における家畜衛生関係者数

MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN
THE JAPANESE EVALUATION TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF
INDONESIA ON THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME

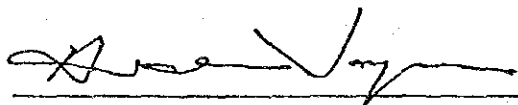
The Japanese Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Hideo Takei visited the Republic of Indonesia from March 20 to March 29, 1989 for the purpose of evaluating the training courses in the field of diagnosis of animal disease and their control programme in Indonesia under the Third Country Training Programme of JICA.

During its stay in Indonesia, the Team had a series of meetings with the authorities concerned of the Government of the Republic of Indonesia with respect to the progress and achievement of the above mentioned training course (hereinafter referred to as "the Course"), and the outline is summarised in the summary report attached as APPENDIX II.

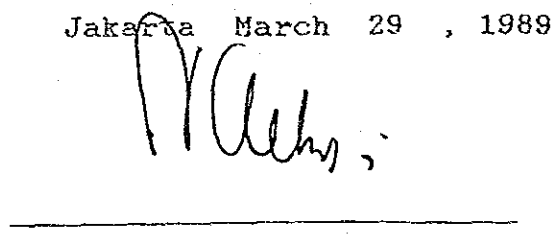
As a result of the meetings, both parties shared the view that the Course has greatly contributed to the development of animal health services in the Asian and Pacific Regions, and agreed to recommend to their respective Governments to continue the Course for two years in response to the potential needs in this regions.

A list of attendants at the meetings is attached as APPENDIX I.

Jakarta March 29 , 1989



Mr. Hideo Takei
Leader,
The Japanese Evaluation Team,
Japan International Cooperation
Agency.



Dr. Soehadji
Director General of Livestock
Services, Department of
Agriculture, Indonesia.

LIST OF ATTENDANTS

JAPANESE SIDE

1. Evaluation Team

Mr. Hideo Takei
Director
Tsukuba International Centre
JICA

Dr. Yasuo Miura
Chief Researcher
Third Research Laboratory,
Kyshu Branch Laboratory,
National Institute of Animal
Health

Dr. Hirotaka Makie
Assistant Director
Animal Drug Assay Laboratory

Mr. Yutaka Iwatani
Staff
Administration Division
Training Affairs Departement
JICA

2. Embassy of Japan

3. JICA Indonesia Office

Mr. Kazuhiro Yoneda
Staff, JICA Indonesia Office

INDONESIAN SIDE

1. Directorate General of
Livestock Services :

- Dr. Omik Koswara
Director of Animal
Health
- Dr. Tjiptardjo
Chief of Veterinary Drug
Control Sub Directorate,
Directorate of Animal
Health
- Dr. Hasan Basri Nasution
Chief of Administration
Directorate of Animal
Health
- Dr. I Gde Sudana
Chief of Animal Diseases
Surveillance, Directorate
of Animal Health
- Dr. Darman Bachri Hs.
Chief Foreign Technical
Cooperation Directorate
of Livestock Programming
- Dr. Tri Satya Putri N.
Staff, Directorate of Animal
Health
- Ms. Hariyati B
Staff, Directorate of
Livestock Programming
- Dr. Agus Heriyanto
Staff, Directorate of Animal
Health
- Mr. Paring Asmara
Staff, Directorate General
of Livestock Services

2. Medan Disease Investigation
Centre :

- Dr. Made Gunawan
Director, DIC Region I
Medan
- Dr. Andre Heryanto
Staff, DIC Region I
Medan
- Dr. Suhirjan
Staff, DIC Region I
Medan
- Dr. Herlin Diah Sumaryani
Staff, DIC Region I
Medan
- Ms. Meuthia Zamzani
Staff, DIC Region I
Medan
- Mr. Mahmud A. Gani
Staff, DIC Region I
Medan
- Dr. Gazwa Mettilia Hakim
Staff, DIC Region I
Medan
- Dr. Isti Marquerita
Staff, DIC Region I
Medan

SUMMARY REPORT

1. BACKGROUND

1. Recognizing the growing needs for the technical knowledge and techniques of diagnosis of animal diseases and their control programme in the Asian and Pacific Regions, the Government of the Republic of Indonesia initiated the International Training Course on diagnosis of animal diseases and their control programme (hereinafter referred to as "the Course") mainly at Disease Investigation Centre in Medan (hereinafter referred to as "Medan DIC") in collaboration with the Government of Japan in the Japanese fiscal year of 1984, based on the Record of Discussions which signed on 17 July 1984.
2. The Course has been conducted for the past five (5) years since its inception upon once-a-year basis by the Government of the Republic of Indonesia and supported by the Government of Japan under its technical cooperation scheme.
3. The purpose of the Course is :
 - (1) to improve the investigation and diagnostic technologies of veterinary officials in the Asian and Pacific Regions and to develop animal disease control programme in the said Regions, and
 - (2) to contribute to the development and extension of these technologies and to strengthen the integrated animal health control programme in the said Regions.
4. On the average, fifteen (15) participants were accepted to the course yearly. The accumulated number is seventy-five (75) for the past five (5) years. The number of participants and their countries of origin are shown in ANNEX I.

II. COOPERATION BY THE GOVERNMENT OF JAPAN THROUGH JICA

1. Under the five years courses, JICA has dispatched seven (7) short-term experts to the Republic of Indonesia, accepted three (3) Indonesian counterpart personnel for training in Japan. Their names are shown in ANNEX II.
2. JICA has furnished with the fund necessary for the invitation of participants from neighbouring countries and the expenditure for operating the courses. The total cost borne by JICA sums up to forty-eight (48) million Japanese yen.

3. The total cost borne by JICA to dispatch the experts sums up to nine (9) million Japanese yen including the cost of equipment carried by them.

4. The equipment provided by JICA costs twenty (20) million yen except that carried by Japanese experts.

The details of the financial cooperation by the Government of Japan through JICA are shown in ANNEX IV.

III. ROLE OF THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF INDONESIA

1. For the five courses annually offered from Japanese fiscal year 1984 to 1988, the Steering and Organizing Committee set up by Directorate General as its internal establishment, whose member consist of Directorate General of Livestock Services and Medan DIC, have planned, executed and reviewed each course under the understanding based on the Record of Discussions.

2. The Steering and Organizing Committee have provided teaching staff from Medan DIC and lecturers from other institutes and some universities to ensure the succesful implementation of the Course.

3. Through its diplomatic channels, the Steering and Organizing Committee have given the pre-information to the invited countries.

4. Medan DIC has made readily available its facilities and equipment including workshop, dormitory and training vesseles to each of the Course.

5. The Government of the Republic of Indonesia has provided fund amounting to Rp 46,398,000 (Forty six million three hundred and eight thousand rupiahs) for five courses the breakdown of which is shown in ANNEX III.

IV. ADMINISTRATION AND MANAGEMENT OF THE COURSE

1. Teaching staff

The list of teaching staff of the course in the Japanese fiscal year of 1984 -1988 is shown in ANNEX V.

2. Qualification of participant

(1) The participants for the first course were senior veterinary officers engaged in national animal health services.

- (2) The Course from the Japanese fiscal year 1985 onward consisted of individual course and group course. The participants for individual course were veterinary officers who have more than two years of diagnostic service or field animal health services experience in animal diseases. The participants for group course were veterinary officers who have more than five years of administrative work experience in animal health.

3. Training circumstances

- (1) Lecture rooms and facilities

Laboratories, teaching rooms and necessary facilities are provided mainly by Medan DIC.

- (2) Equipment for practical training

It is provided by both Medan DIC and JICA.

- (3) Textbooks

Major textbooks were prepared by Medan DIC and each lecturer, and the handout were prepared by the Steering and Organizing Committee.

- (4) Accommodation

Through whole term of the Course, the accommodation were arranged and prepared by the Steering and Organizing Committee.

4. Procedure of application, nomination

Usually six months prior to the Course, the Steering and Organizing Committee executed the overall procedure according to guidelines agreed on at its first meeting.

V. ASSESSMENT

The Steering and Organizing Committee obtained information through the questionnaires filled by the participant attended the Course from Japanese fiscal year 1984 to 1988. Furthermore, this time, the new questionnaires were sent to all the ex-participant attended the Course from Japanese fiscal year 1984 to 1987 by the Steering and Organizing Committee and collected from twenty (20) ex-participants [eight (8) from Indonesia]. Prior to the evaluation discussion, according to the information from above questionnaires and persons concerned, Indonesian side and Japanese side jointly made the evaluation sheet.

Based on the evaluation sheet, both sides had a series of evaluation discussions.

The result of the above mentioned questionnaires are shown in ANNEX VI and ANNEX VII. The evaluation sheet and its result are shown in ANNEX VIII.

1. Training outcome

The most striking aspect of the whole course was the clear evidence from the lectures, laboratory work, presentations and discussions as to how far the investigation and diagnostic technologies has improved and developed in the Asian and Pacific Regions in the last few years.

The Course provided a very useful forum for the exchange and discussions of ideas and concepts among the respective countries, yielding the training outcome applicable and effective. The cross-fertilisation of ideas and techniques between the individuals of the different participating countries will be of undoubted value in continuing the developmental process.

The Course was found relevant to animal disease situation in Asian countries and at the same time has strengthened the friendly relationship among Asian countries. Therefore, it is concluded a greater extent the course has achieved its goals in the awareness of the importance of animal disease diagnosis and their control programme.

2. Course Planning

(1) Individual Course

Generally it can be said that the duration of the individual course was suitable, although quite number of participants suggested that the time allocated is rather short. Most of the participants felt that the contents and order of individual course were suitable. However, efforts should also be taken to invite more experienced lecturers in the new techniques in diagnosis.

(2) Group Course

The duration, contents and order of the group course were suitable, except the points that the time allocation to the comparative study by discussions was insufficient. Most of lectures given were quite satisfactorily and concise. It is suggested that emphasis during the lectures should be placed on what techniques of each country is lacking of.

(3) Total Planning

As a whole, the participants felt that the Course was well organized, particularly with the reference of high achievement of training outcome. The lectures were very informative particularly those on the recent developments and trends in diagnostic techniques. However, it would be more worthwhile to have a greater opportunities to discuss on the strategies adopted in respective countries so it helps the participants have a better understanding of disease pattern in neighbouring countries and the effectiveness in their control measures.

3. Administration and Management

The administration and management of the Course have been arranged efficiently in term of proper provision, arrangement in every step of budget, personnel, equipment, materials, course planning and its conduct. However it is suggested to have earlier notification to respective countries for their good preparedness.

4. Japanese Cooperation

The Indonesian side express high appreciation in every aspect for the Japanese support to the programme, which the Japanese side acknowledged.

VI. CONCLUSION

As the results of above mentioned assesment, both sides shared the view that the Course has been suitably planned and properly conducted and that the Course has produced a remarkable outcome and has greatly countributed to the development of animal health services in the Asian and Pacific Regions.

VII. FUTURE PLAN AND RECOMMENDATION

1. The Indonesian side expressed its intention to continue the Course and requested further Japanese cooperation on this programme.

In due consideration of the still existing needs for diagnosis of animal diseases and their control programme in the Asian and Pacific Regions, and the outcome of the Course through past five years, both sides agreed to continue the Course for two years from the Japanese fiscal year 1989.

2. Both sides shared the view that the following Course would be operated in accordance with the Record of Discussions signed on 17 July 1984.

(1) Purpose

- i) To improve the investigation and diagnostic technologies of veterinary officials in the Asian and Pacific Regions and to develop animal disease control programme in the said Regions, and
- ii) To contribute to the development and extension of these technologies and to strengthen the integrated animal health control programme in the said Regions.

(2) Duration

The Course will be held for a period of four (4) to five (5) weeks; two (2) to three (3) weeks for individual course and two (2) weeks for group course.

(3) Curriculum

Principally the previous curriculum is still applicable. Adjustments will be done according to necessity

(4) Invited countries

India and Pakistan will be added to previous list of invited countries Bangladesh, Bhutan, Brunei, Burma, Fiji, Malaysia, Nepal, Papua New Guinea, Philippines, Solomon Islands, Sri Lanka, Thailand, Vanuatu and Western Samoa.

(5) Number of participants

i) Individual Course :

The number of participants from the invited countries shall not exceeds five (5) in total, and the number of participants from Indonesia shall not exceeds two (2).

ii) Group Course :

The number of participants from the invited countries shall not exceeds fifteen (15) in total, and the number of participants from Indonesia shall not exceeds five (5).

The number of participants in group course includes all the participants in the individual course.

(6) Qualification of participant.

(1) Individual course

Veterinary officers who have more than two years of diagnostic services or field animal health services experience in animal diseases.

(2) Group course

Veterinary officers who have more than five years of administrative work experience in animal health.

3. The Indonesian side will make effort to fill all the seats allocated in the Course.

The Japanese side will dispatch the short-term expert(s) as per necessity, following the regular procedure of its technical cooperation scheme.

A N N E X E S

- I. Number of participants accepted to the courses
- II. Dispatched short-term experts and accepted counterpart personnel
- III. Budget Provision by the Government of the Republic of Indonesia
- IV. Cooperation by the Government of Japan through JICA
- V. Teaching staff of the course in 1985 to 1988
- VI. Results of the questionnaires to the participants of 1985-1988
- VII. Results of the questionnaires to the ex-participants of 1984-1987
- VIII. The Evaluation sheet and its results.

ANNEX I

NUMBER OF PARTICIPANTS ACCEPTED TO THE COURSE

Japanese fiscal year	1984	1985	1986	1987	1988	Total
Bangladesh	2	1			1	4
Bhutan		1			1	2
Burma		1				1
Burnei			1			1
Fiji		1				1
India				1		1
Malaysia	2	2	1	2	2	9
Nepal				1	1	2
Pakistan				1		1
Papua-New Guinea						0
Philippines	2	2	2	2	2	10
Solomon Islands		1		1		2
Singapore			1			1
Sri Lanka	1	1	2			4
Thailand	2	2	2	2	2	10
Vanuatu						0
Western Samoa	1		1	1		3
Sub total (1)	10	12	10	11	9	52
Indonesia (2)	5	5	5	4	4	23
Total (1)+(2)	15	17	15	15	13	75

(Remark 1) India, Pakistan and Singapore are not regular invited countries mentioned in the Record of Discussion signed 1984.

(Remark 2) The year in this table is Japanese fiscal year. (Apr./ Mar.)

(Remark 3) The duration of each Course :

1st Feb. 3, 1985 - Feb. 19, 1985
 2nd Jan. 26, 1986 - Mar. 4, 1986
 3rd Jan. 26, 1987 - Mar. 4, 1987
 4th Jan. 25, 1988 - Mar. 3, 1988
 5th Jan. 23, 1989 - Mar. 3, 1989

DISPATCHED JAPANESE SHORT-TERM EXPERTS
AND
ACCEPTED COUNTERPART PERSONNEL

(1) THE LIST OF JAPANESE EXPERTS

Japanese fiscal year	Name	Field	Duration
1984	Shirou Yoshimurara	Animal Health	4/ 2/85 - 11/ 2/85
1985	Takuji Sawada	Bacteriology	1/ 2/86 - 19/ 2/86
	Takashi Ogawa	Epidemiology	9/ 2/86 - 6/ 3/86
1986	Yukio Ozai	Epidemiology	28/ 1/87 - 3/ 3/87
	Hiroomi Akashi	Virology & Immunology	15/ 2/87 - 7/ 3/87
1987	Muneo Nakazawa	Bacteriology	9/ 2/88 - 4/ 3/88
1988	Syuichi Tokuhisa	Epidemiology	24/ 1/89 - 3/ 3/89

(2) THE LIST OF COUNTERPART PERSONNEL

Japanese fiscal year	Name	Duration
1984	Ronny Mudigdo (Chif. Bacto. Section, Medan DIC)	4/12/84 - 28/12/84
	Sofyan Sudardjat (Head, Sub-Directrate of Animal Disease Control)	4/12/84 - 28/12/84
1985	Soenardi (Director, Bukittingi DIC)	3/12/85 - 25/12/85

ANNEX III

BUDGET PROVISION BY THE GOVERNMENT OF
REPUBLIC OF INDONESIA 1985 - 1988

FISCAL YEAR	TOTAL BUDGET	REMARKS
1984 - 1985	Rp 13,000,000	DIP Animal Health
1985 - 1986	Rp 10,000,000	DIC - Medan
1986 - 1987	Rp 10,000,000	DIC - Medan
1987 - 1988	Rp 6,000,000	SET - KAB
1988 - 1989	Rp 7,398,000	SET - KAB
TOTAL	Rp 46,398,000	

ANNEX IV

COOPERATION BY THE GOVERNMENT OF JAPAN

JAPANESE FISCAL YEAR	OPERATIONAL COST BORNE BY JICA	SHORT TERM EXPERTS DISPATCHED BY JICA		COUNTERPART TRAINING IN JAPAN (NUMBER)	EQUIPMENT PROVIDED BY JICA	TOTAL COST BORNE BY JICA
		NUMBER	COST			
1984	11,161	1	583	2	-	11,744
1985	10,592	2	1,457	1	19,879	33,175
1986	9,079	2	2,084	-	-	12,578
1987	8,596	1	978	-	-	9,574
1988	8,260	1	995	-	-	9,506
TOTAL	47,688	7	6,097	3	19,879	76,577

The cost for counterpart training in Japan is excluded.

(Unit of cost : Thousand Japanese Yen)

ANNEX V

LIST OF LECTURER & SPEAKERS
INTERNATIONAL COURSE ON DIAGNOSIS
ON ANIMAL DISEASE AND THEIR CONTROL PROGRAMME
MEDAN, NORTH SUMATERA INDONESIA
FEBRUARY 4 - FEBRUARY 18, 1985

<u>N A M E</u>	<u>S U B J E C T</u>
Dr. Masduki Partadiredja, M.Sc.	: Brief information on animal disease control programme in Indonesia.
Ir. Erwin Soetirto	: Livestock Development Programme in-Indonesia.
Drh. Adat Peranginangin	: The role and function of DIC Region I Medan.
Dr. Soehardjo Hardjosworo	: Virology and Veterinary Epidemiology
Prof.Dr.Soesanto	: Veterinary pathology
Dr. T.Ogawa	: - Virulence and antigenic variatic of New Castle disease. - Discriptive statistics : frequency curves, averages and variability - Epizootiology of Avian Influenza Viruses.
Dr. Minoru Sawada	: Bacteriology : HS, Erysipelas
Drh. Rony Mudigão	: General bacteriology
Drh. Andre Heriyanto	: General parasitology
Drh. Endang Soesanto	: General pathology
Drh. Herlin Diah T.	: General virology
Mrs. Mutiah B.Sc.	: General biochemistry.

THE INTERNATIONAL COURSE ON PRINCIPLES OF ANIMAL DISEASES
AND THEIR CONTROL PROGRAMME, MEDAN, NORTH SUMATRA, INDONESIA.
JANUARY 25- MARCH 5, 1967

LIST OF SPEAKERS/LECTURERS & SUBJECT OF LECTURES

I. INDIVIDUAL COURSE

<u>NAME OF LECTURER/SPEAKERS</u>	<u>SUBJECT</u>
Dr. Adat Peranginangin, Director of Disease Investigation Centre Region I Medan (Address: KM.7, Jl. Binjai, Medan, North Suma- -tera, Indonesia)	Organization and function of DIC Region I Medan
Dr. Suhirjan, Chief Pathology Section DIC-Region I Medan	Pathology
Dr. Yukio OZAI, Technical Staff Summa Institute of Animal Health Japan	Epidemiology
Dr. Andre Heryanto, Chief Parasitology Section DIC Region I Medan	Parasitology
Dr. Setyowati, Chief Bacteriology Section DIC Region I Medan	Bacteriology
Mrs. Neuthia Zamzani, Chief Biochemistry Sub Section DIC Reion I Medan.	Biochemistry
Dr. Herlin Dyah Sumaryani, Chief Virology Section DIC Region I Medan	Virology

N A M E

S U B J E C T

Dr. Sukobagyo	: FMD Eradication Programme in Indonesia
Dr. Shiro Yoshimura	: Animal Disease Situation and Control System in Japan
Dr. Sukobagyo	: Livestock Credit Scheme for small Farmers
Dr. Unruh	: Data Analysis and Field- Investigation
Dr. Unruh	: Epidemiology

The Fourth International Course On Diagnosis of Animal
Diseases and Their Control Programme
Medan, North Sumatera, Indonesia

January 24 - March 3, 1988

List of speakers/Lecturers &
Subject of Lectures.

I. Individual Course

<u>Name of lecturers/Speakers.</u>	<u>Subject</u>
1. Dr. Adat Paranginangin, Director of Disease Investigation centre Region I Medan (Address : Km.7. Jl.Binjai, Medan, North Sumatera, Indonesia).	- Organization and function of DIC region I-Medan. - Virology.
2. Dr. Suhirjan, chief of Pathology section DIC Region I Medan.	- Pathology.
3. Dr. Andyo Haryanto, chief of Parasitology section DIC-Region I Medan.	- Parasitology.
4. Dr. Saipuwali, chief of Bacteriology section DIC Region I Medan.	- Bacteriology
5. Hara-Hutjira Zenzemi, chief of Biochemistry sub section. DIC-Region-I Medan.	- Biochemistry
6. Dr. Herlin Diah Sumaryani, chief of Virology section DIC Region I Medan.	- Virology

II. GROUP COURSE

- | | |
|--|--|
| 1. Mr. A. Simbara, Senior Official
Office of Education & Culture of
North Sumatra Province, Medan | Livestock Medicine |
| 2. Prof. DR. Manduki Pertiadiredja,
Director Of Animal Health, Director-
rate General of Livestock Services,
Dept. of Agriculture, Indonesia.(Jakarta)

(concurrently as the Senior Lecturer
of the Fac. of Vet. Med., Bogor Agricultural
University) | Brief information on
Animal Disease Control
Programme in Indonesia |
| 3. Ir. Erik Nursahrandani, Senior Staff
Directorate of Livestock Programming, BGLS.
Jakarta, Indonesia | Livestock Development Programme
in Indonesia. |
| 4. Prof. DR. Soeratio P.
Senior Lecturer of the Fac. of Vet. Med.
Bogor Agricultural University | Patterns of Animal Infectious
Diseases :
1. Continuity of infectious diseases
2. Influence of Husbandry on diseases |
| 5. Dr. Yukio OZAI, Technical Staff
Gurma Institute of Animal Health
Japan | Epidemiology |
| 6. Dra. Soekarsih, Researcher, Animal
Disease Research Institute, Parasi-
tology Section, Bogor. | Parasitology |
| 7. Prof. DR. Soesanto
Dean, Fac. of Vet. Med. Gajah Mada
University, Jogjakarta | Pathology |
| 8. Dr. Hiroomi AKIYOSHI, Senior Researcher
Biological Products Division, National
Institute of Animal Health, Tsukuba,
Ibaraki, Japan. | Virology & Immunology. |

The Third International Course On Diagnosis Of Animal Diseases
And Their Control Programme, Medan, North-Sumatera, Indonesia
January 23 - March 4, 1989

=====

List Of Speakers / Lecturers & Subject Of Lectures

I. INDIVIDUAL COURSE

<u>NAME OF LECTURERS / SPEAKERS</u>	<u>SUBJECT</u>
1. DR. I-Made-Gunawan MWSc, Director of Disease Investigation Centre Region I Medan. (Address: Km.7 Jl. Binjai, Medan, North Sumatera, Indonesia).	Organization and Function of DIC Region I Medan.
2. DR. Suhirjan, Chief, Pathology Section DIC Region I Medan	Pathology.
3. DR. Andre Heryanto, Chief, Parasitology Section DIC Region I Medan	Parasitology.
4. IRT. Mahmud A. Gani, Staff of Bacteriology Section DIC Region-I Medan	Bacteriology.
5. Meuthia Zamzami, Chief, Biochemistry Sub Section DIC Region I Medan	Biochemistry.
6. DR. Herlin Diah Sumaryani, Chief, Virology Section DIC Region I Medan	Virology.
7. DR. Shuichi Tokuhisa, Chief of The First Laboratory, Tohoku Branch Laboratory, National Institute of Animal Health, Ministry of Agriculture Forestry and Fisheries, JAPAN.	Epidemiology.

II. GROUP COURSE.

1. MR. A. Simambra, Senior Official office of Education & Culture of North Sumatera Province, Medan. Indonesian Culture
2. DR. Darman Hasibuan, Senior staff Directorate of Livestock Programming, DGLS, Jakarta, Indonesia. Livestock Development Programme in Indonesia.
3. DR. Omik Koswara, Director of Animal Health, Direktorat General of Livestock Services, Dept. of Agriculture, Indonesia (Jakarta) Brief Information on Animal Disease Control Programme in Indonesia.
4. Prof. DR. Masduki Partadiredja, senior Lecturer of the Fac. of Vet. Med. Bogor Agricultural University. Virology & Immunology.
5. DR. I . Prastyawati S. MSc, Researcher, Animal Disease Research Institute, Parasitology-Section, Bogor. Parasitology
6. DR. R. Marito, MSc, Ph D., Senior Lecturer of the Fac. of Vet. Med. Gajah Mada University, Jogjakarta. Pathology.
7. Prop. DR. Soeratno P Senior Lecturer of the Fac. of Vet. Med. Bogor Agricultural University. Patterns of Animal Infectious Diseases :
 1. Continuity of Infectious Diseases.
 2. Influence of Husbandry on Diseases.
8. DR. S. TOKUHISA, Chief of the First Laboratory, TOHOKU Branch Laboratory, National Institute of Animal Health, Ministry of Agriculture Forestry and Fisheries, JAPAN. Epidemiology & Animal Health Services in Japan.

II. Group Course.

1. Mr. A. Sisumana, senior official
office of Education & culture of
North Sumatra Province, Medan. - Indonesian culture
2. Prof. DR. Nasduli Pantadiredja, Director
of Animal Health, Directorate General of
Livestock services, Dept. of Agriculture,
Indonesia (Jakarta). - Brief information on
Animal Disease control
Programme in Indonesia
(Concurrently as the senior lecturer of
the Fac. of Vet. Med., Bogor Agricultural
University)
3. Dr. Edwin Sestirto, Director of Livestock
Programming, DARS - Jakarta, Indonesia. - Livestock Development
Programme in Indonesia
4. Dr. Soela Jaya, MS, Researcher, Animal
Disease Research Institute, Parasitology
Section, Bogor. - Parasitology.
5. Prof. Soeljipto Hitiouwiryo, MSc, Fac. of
Vet. Med. Gajah Mada University, Yogyakarta. - Pathology.
6. DR. Huma Makunawa, senior Researcher,
National Institute of Animal Health,
Tsukuba, Ibaraki, JAPAN. - Bacteriology.
7. Dr. Satriawan Paranginagan, Director -
Faculty of Disease Investigation centre
Region I Medan. - Virology.
8. Prof. DR. Soeratro P. senior lecturer of
the Fac. of Vet. Med, Bogor Agricultural
University - Microbiology.

ANNEX VI

RESULTS OF THE QUESTIONNAIRES TO THE PARTICIPANTS OF 1985 - 1988

(%)

Japanese fiscal year	1985	1986	1987	1988	Average
I. Objectives					
1) To what extent were you aware of the objectives of the Course before you came to Indonesia ?					
- Fully aware	82.4%	80.0%	63.0%	84.6%	77.5%
- Not aware at all	17.6%	20.0%	37.0%	15.4%	22.5%
2) Please indicate whether the main objectives of the Course were fully or not met ?					
- Fully met	N.A.	100.0	74.0	76.9	83.6
- Not met	N.A.	0.0	38.0	23.1	16.4
3) What extent was your expectation of the Course fulfilled ?					
- Completed fulfilled	88.2	100.0	74.0	92.3	88.6
- Not fulfilled	11.2	0.0	26.0	7.7	11.4
II. Curriculum designed					
1) Coverage of the subjects					
- Incomplete	5.9	6.7	6.0	15.3	8.4
- Just right	94.1	80.0	86.0	96.2	89.0
- Too broad	N.A.	13.3	8.0	15.3	12.2
2) Level					
- Too elementary	5.9	6.7	6.0	7.6	6.5
- Just right	94.1	86.7	86.0	76.9	85.9
- Too advanced	N.A.	5.7	8.0	15.3	10.0
3) Time allocated to					
Lectures					
- Too little	N.A.	13.3	32.0	23.0	22.7
- Just right	N.A.	86.7	60.0	96.2	80.9
- Too much	N.A.	0.0	8.0	7.8	5.2
Discussions					
- Too little	N.A.	21.4	50.0	61.5	47.6
- Just right	N.A.	78.6	33.0	23.0	44.8
- Too much	N.A.	0.0	7.0	15.5	7.5
Observation					
- Too little	5.9	25.7	7.0	7.8	11.6
- Just right	94.1	66.7	60.0	69.2	72.5
- Too long	0.0	6.7	33.0	23.0	15.6

4) Intensity					
- Too leisure	5.9	6.7	4.0	15.5	8.0
- Just right	82.4	80.0	86.0	76.9	81.3
- Too hard	11.9	13.3	10.0	7.6	10.7

5) Duration					
- Too short	35.3	13.3	54.0	69.2	42.9
- Just right	52.9	73.3	44.0	22.0	48.0
- Too long	5.9	13.3	6.0	7.8	8.2

III. Course Conduct

1) Teaching method					
- Very poor	N.A.	0.0	0.0	0.0	0.0
- Poor	N.A.	0.0	0.0	0.0	0.0
- Good	N.A.	60.0	66.0	69.2	65.0
- Very good	N.A.	33.3	34.0	30.0	32.4
- Outstanding	N.A.	6.7	0.0	0.0	2.2

2) Application of technique and knowledge					
- Few	11.8	0.0	27.0	15.4	13.5
- Quite many	88.2	100.0	73.0	84.6	86.4

IV. Administration and Management

1) Coordination for course conduct					
- Very poor	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
- Poor	5.9	6.7	0.0	0.0	3.1
- Good	88.2	46.7	45.0	69.2	87.7
- Very good		33.3	45.0	23.0	
- Outstanding	5.9	13.3	10.0	7.8	9.2

2) Pre course information (G.I.)					
- Very poor	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
- Poor	23.5	20.0	0.0	0.0	10.8
- Good	76.5	46.7	33.0	15.3	84.1
- Very good		26.7	55.0	76.9	
- Outstanding	0.0	6.7	6.0	7.8	5.1

3) Arrangement for observation trip					
- Very poor	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
- Poor	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
- Good	100.0	53.3	55.0	69.2	96.7
- Very good		33.3	45.0	30.8	
- Outstanding	0.0	13.3	0.0	0.0	3.3

4) Housing and food accomodation					
- Very poor	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
- Poor	0.0	13.3	0.0	0.0	3.3
- Good	100.0	66.7	55.0	69.2	93.4
- Very good		6.7	45.0	30.8	
- Outstanding	0.0	13.3	0.0	0.0	3.3
5) Allowance					
- Too little	5.9	20.0	33.0	15.3	18.5
- Reasonable	88.2	66.7	66.0	76.9	74.4
- Too much	5.9	13.3	3.0	7.8	7.5
6) Transportation					
- Inconvenient	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
- Good	100.0	53.3	55.0	84.6	100.0
- Very convenient		16.7	45.0	15.4	
7) Social programme					
- Very poor	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0
- Poor	17.7	20.0	8.0	0.0	11.4
- Good	82.4	26.7	43.0	69.2	85.0
- Very good		46.7	43.0	23.0	
- Outstanding	0.0	5.7	6.0	7.8	3.6
8) Communication among the participations					
- Very poor	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
- Poor	0.0	6.7	0.0	0.0	1.6
- Good	88.2	53.3	67.0	84.6	93.8
- Very good		33.3	33.0	15.4	
- Outstanding	11.8	6.7	0.0	0.0	4.6
V. Training Outcome					
1) Training out comes					
- Little	0.0	0.0	5.0	15.4	5.1
- Fully	100.0	100.0	95.0	84.6	94.9

RESULT OF THE QUESTIONNAIRES TO THE EX-PARTICIPANTS OF 1984-1987

The total number of sending questionnaires were fifty-two (52).

The total number of collected questionnaires were twenty (20).

The rate of collection is 32.2 %.

Number of oversea participants 12 (3)

Number of Indonesian participants 8 (6)

(Number in brackets shows participants for individual course)

I. General Question

(9) Dose anyone of superiors usually recommend some of his staff to apply for the course?

	(oversea)	(Indonesia)	(total)	(%)
<input type="checkbox"/> Always	5	1	6	30 %
<input type="checkbox"/> Sometimes	7	7	14	70 %
<input type="checkbox"/> Never	0	0	0	0 %

(10) Do you recommend your colleagues to apply for the course?

<input type="checkbox"/> Yes	10	8	18	90 %
<input type="checkbox"/> No	2	0	2	10 %

(11) Have you participated in any other courses in your country or abroad after the training?

<input type="checkbox"/> Yes	7	1	8	40 %
<input type="checkbox"/> No	5	7	12	60 %

II. Training Outcomes

(1) To what extent had you acquired the update knowledge through the course?

	(oversea)	(Indonesia)	(total)	(%)
<input type="checkbox"/> very much	2	1	3	15 %
<input type="checkbox"/> much	8	6	14	70 %
<input type="checkbox"/> some	2	1	3	15 %
<input type="checkbox"/> a little	0	0	0	0 %
<input type="checkbox"/> not at all	0	0	0	0 %

(2) To what extent had your techniques been leveled up through the course?

<input type="checkbox"/> very much	2	1	3	15 %
<input type="checkbox"/> much	5	4	9	45 %
<input type="checkbox"/> some	4	3	7	35 %
<input type="checkbox"/> a little	1	0	1	5 %
<input type="checkbox"/> not at all	0	0	0	0 %

(3) In the course, did you have chances to study the techniques and knowledge you had expected before your participation.

<input type="checkbox"/> quite many	2	2	4	20 %
<input type="checkbox"/> many	3	4	7	35 %
<input type="checkbox"/> some	4	2	6	30 %
<input type="checkbox"/> few	0	0	0	0 %
<input type="checkbox"/> not at all	3	0	3	15 %

(4) To what extent could you apply the knowledge, techniques and experience acquired in the course to your job?

<input type="checkbox"/> very much	2	2	4	20 %
<input type="checkbox"/> much	6	4	10	50 %
<input type="checkbox"/> some	3	2	5	25 %
<input type="checkbox"/> a little	0	0	0	0 %
<input type="checkbox"/> not at all	0	0	0	0 %

(5) How are you making use of the knowledge, techniques and experiences you acquired in the course? Please mark appropriate boxes.

	(oversea)	(Indonesia)	(total)	(%)
<input type="checkbox"/> Lectures in the research institute	3	0	3	15 %
<input type="checkbox"/> Training course and seminars	3	1	4	20 %
<input type="checkbox"/> Informing personally to the staff	6	6	12	60 %
<input type="checkbox"/> On-the-job training	3	1	8	40 %
<input type="checkbox"/> Laboratory work	6	5	11	55 %
<input type="checkbox"/> Field survey	6	2	8	45 %
<input type="checkbox"/> Others ()	1	0	1	5 %

(6) Please indicate if personal improvement has occurred in your job or work since you attended the course.

<input type="checkbox"/> No improvements	1	0	1	5 %
<input type="checkbox"/> Yes, there is/are improvement(s)	12	7	19	95 %

If yes, please check where applicable:

<input type="checkbox"/> work conditions	6	3	9	45 %
<input type="checkbox"/> responsibility	5	4	9	45 %
<input type="checkbox"/> prospects for the future	6	4	10	50 %
<input type="checkbox"/> salary-wise	1	0	1	5 %
<input type="checkbox"/> in obtaining other (better) job	0	0	0	0 %
<input type="checkbox"/> contents of work	8	2	10	10 %
<input type="checkbox"/> professional recognition	4	4	8	8 %
<input type="checkbox"/> international contacts	6	4	10	10 %

(7) Does your organization wish to send more participants to the course?

<input type="checkbox"/> wish strongly	8	5	13	65 %
<input type="checkbox"/> wish if there is a vacancy	3	2	5	25 %
<input type="checkbox"/> not necessary	1	0	1	5 %

III. Course Planning

III-1. Individual Course

(1) The duration of Individual Course was

	(oversea)	(Indonesia)	(total)	(%)
<input type="checkbox"/> too long	0	0	0	0 %
<input type="checkbox"/> suitable	1	4	5	56 %
<input type="checkbox"/> too short	2	2	4	44 %

(2) The contents of Individual Course was

<input type="checkbox"/> very fruitful and useful	1	0	1	11 %
<input type="checkbox"/> suitable	2	6	8	89 %
<input type="checkbox"/> fair	0	0	0	0 %
<input type="checkbox"/> poor	0	0	0	0 %

III-2. Group Course

(1) The duration of Lecture in Group Course was

<input type="checkbox"/> too long	1	0	1	5 %
<input type="checkbox"/> suitable	9	6	15	75 %
<input type="checkbox"/> too short	2	2	4	20 %

(2) The contents of Lecture in Group Course was

<input type="checkbox"/> very fruitful and useful	2	0	2	10 %
<input type="checkbox"/> suitable	9	8	17	85 %
<input type="checkbox"/> fair	0	0	0	0 %
<input type="checkbox"/> poor	0	0	0	0 %

(3) The duration of Study Trip in Group Course was

	(oversea)	(Indonesia)	(total)	(%)
<input type="checkbox"/> too long	0	0	0	0 %
<input type="checkbox"/> suitable	9	5	14	70 %
<input type="checkbox"/> too short	5	3	6	30 %

(4) The contents of Study Trip in Group Course was

<input type="checkbox"/> very fruitful and useful	5	1	6	30 %
<input type="checkbox"/> suitable	4	6	10	50 %
<input type="checkbox"/> too hard	1	0	1	5 %
<input type="checkbox"/> unsuitable	1	1	2	10 %

(5) For what are you making use of the experiences of the study trip?

<input type="checkbox"/> prospects for the future in the field of animal health in your country	8	3	11	55 %
<input type="checkbox"/> improvement of the system of administration	4	4	8	40 %
<input type="checkbox"/> improvement of the method of research work in your institute	5	1	6	30 %
<input type="checkbox"/> improvement of the method of management in your institute	4	2	6	30 %
<input type="checkbox"/> improvement of the method of field survey	8	4	12	60 %
<input type="checkbox"/> improvement of the method of guidance for farmers	7	5	12	60 %
<input type="checkbox"/> others ()				

(6) Which place was the most interesting for you?

<input type="checkbox"/> Noth Sumatra	4	2	6	<input type="checkbox"/> Semarang	0	0	0	<input type="checkbox"/> Other place
<input type="checkbox"/> Bali	7	6	13	<input type="checkbox"/> Central Java	1	0	1	
<input type="checkbox"/> Surabaya	2	0	2	<input type="checkbox"/> Bogor	2	1	3	
<input type="checkbox"/> Malang	1	1	2	<input type="checkbox"/> Gn. Simdor	1	0	1	
<input type="checkbox"/> Yogyakarta	2	1	3	<input type="checkbox"/> Jakarta	1	0	1	

(7) To improve the Course, we would appreciate your frank opinions or suggestions on:

a) Curriculum design.

b) Administration and management.

c) Other comments.

IV. Others

- (1) To what extent has the situation of this field in your country changed since you attended the course?

	(oversea)	(Indonesia)	(total)	(%)
<input type="checkbox"/> very much	1	0	1	
<input type="checkbox"/> much	5	5	10	
<input type="checkbox"/> some	2	2	4	
<input type="checkbox"/> a little	2	0	2	
<input type="checkbox"/> not at all	1	0	1	

- (2) To what extent has your attending the Course given you/your institute the solution of the technical problems and difficulties?

	(oversea)	(Indonesia)	(total)	(%)
<input type="checkbox"/> very much	1	0	1	5 %
<input type="checkbox"/> much	3	1	4	20 %
<input type="checkbox"/> some	6	4	10	50 %
<input type="checkbox"/> a little	1	0	1	5 %
<input type="checkbox"/> not at all	0	1	1	5 %

- (3) Now, what are the necessary techniques for you/your institute?

- a) _____
 b) _____
 c) _____
 d) _____

- (4) Do you hope to have another training at advanced level?

	(oversea)	(Indonesia)	(total)	(%)
<input type="checkbox"/> Yes	11	8	19	95 %
<input type="checkbox"/> No	1	0	1	5 %

(5) What do you consider are obvious obstacles in improving the activities of your institute?

(oversea) (Indonesia) (total) (%)

Check in each items A and B.

A. Lack of :

<input type="checkbox"/> trained personnel	6	7	13	65 %
<input type="checkbox"/> support of supervisor	4	0	4	20 %
<input type="checkbox"/> foreign experts	6	5	11	55 %
<input type="checkbox"/> equipment	8	6	14	70 %
<input type="checkbox"/> research facilities	9	2	11	55 %
<input type="checkbox"/> technical literature	6	4	10	50 %
<input type="checkbox"/> funds	7	6	13	65 %
<input type="checkbox"/> career perspective	2	0	2	10 %
<input type="checkbox"/> others ()				

B. Various constraints

<input type="checkbox"/> economic situation	7	7	14	75 %
<input type="checkbox"/> poor management	3	0	3	15 %
<input type="checkbox"/> political situation	2	0	2	10 %
<input type="checkbox"/> brain drain	1	1	2	10 %
<input type="checkbox"/> promotion structure	5	3	8	40 %
<input type="checkbox"/> no-in-service training	3	0	3	15 %
<input type="checkbox"/> poor maintenance of equipment	2	2	4	20 %
<input type="checkbox"/> others ()				

(6) To what extent will you contribute to the future development of this field with the knowledge and techniques acquired in the Course in your country?

<input type="checkbox"/> very much	1	1	2	10 %
<input type="checkbox"/> much	5	5	10	50 %
<input type="checkbox"/> some	3	2	5	25 %
<input type="checkbox"/> a little	0	0	0	0 %
<input type="checkbox"/> not at all	0	0	0	0 %

(7) Is there any development project in the field of animal health in your county at present or in future? If yes, please mention it.

(8) If you have any other comments, please describe freely.

ANNEX VIII

Result of The Joint evaluation Team On Diagnosis
Animal Disease of Their Control Programme

Summary of Mark based on the
Evaluation Sheet

The point of evaluation :

No	Items	Mark	Remarks
1.	Duration	90	
2.	Curriculum		
	a. Constitution	85	
	b. Level	95	
	c. Coverage of the subjects	95	
	d. Depth of the subjects	95	
3.	Methodology		
	a. Balance between individual and group courses.	80	Additional 6 days will be used for discussion, field trip and laboratory work. lecture for the individual course in the duration specified in the R/D.
	b. Individual course (IC)		
	- Lectures	90	
	- Practical activities	90	
	c. Group Course (GC)		
	- Work shop	80	Additional 2 days for group course
	- Observation trips	80	Additional 2 days for group course
4.	Learning Materials		
	- Text books	95	
	- Other Material	80	
5.	Equipment		
	- Individual Courses	100	
	- Group Courses	100	
6.	Facilities		
	- Individual Course	100	
	- Group Course	100	- India and Pakistan will be invited - East Africa other matters same as above

7. Invited Countries	100	
8. Number of Participants	80	
9. Qualification of Participants	95	The last qualification of participants can be used
10. Applicability of the training out come	85	
11. Effectivity of the training out come	85	
12. Relevancy of the training out. come	85	
13. Undertaking of the Government of the Republic of Indonesia		
a. Invitation of participant procedure-	70	Invited procedure start on July Invitation participant on November Arrival participant exepted on the third weeks of January.
b. Curriculum formation	95	
c. Necessary personel assignment	95	
d. Accomodation arragement	95	
e. Budget Provision	100	
f. Account settlement	100	
g. Another points	-	
14. Undertaking ot the Government of Japan		
a. Dispatch of the experts number qualification. fields	95	
b. Counterparts training in Japan (number and achievement)	-	
c. Cost sharing and its procedures	100	
d. Provision of equipment	100	
T o t a l		2825
E v e r a g e		91,12 (Very Good)

Category : - 80 - 100 : Very Good
- 60 - 80 : Good
- 40 - 60 : Not Good
- 20 - 40 : Poor
- 0 - 20 : Very poor

Medan, 24 March 1989.

EVALUATION SHEET

**INTERNATIONAL COURSE ON DIAGNOSIS OF ANIMAL DISEASE AND
THEIR CONTROL**

PROGRAMME

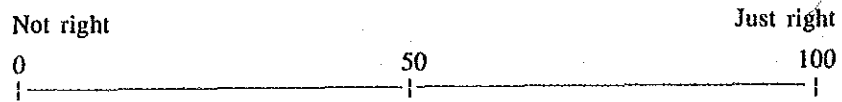
EVALUATED BY: _____

The course will be evaluated basically in the light of the purpose set up for the whole programme, namely to which extent the course has achieved in;

1. Improving the investigation and diagnostic technological of veterinary officials in Asia and Pacific Regions and in improving animal disease control programme in the said Regions and
2. Contribution to the development and extension of these technologies and in strengthening the integrated animal health control programme in the said Regions.

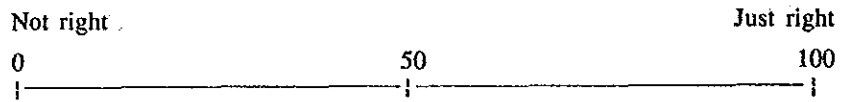
4. Learning Materials

Text Books



Reason:

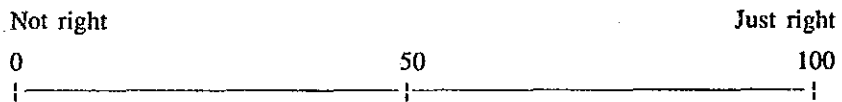
Other Materials



Reason:

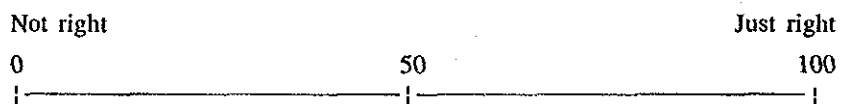
5. Equipment

IC



Reason:

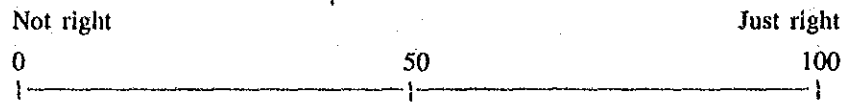
GC



Reason:

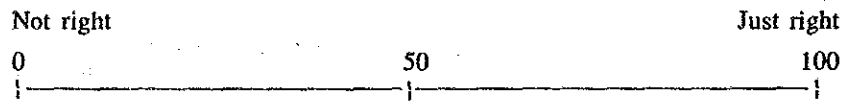
6. Facilities

IC



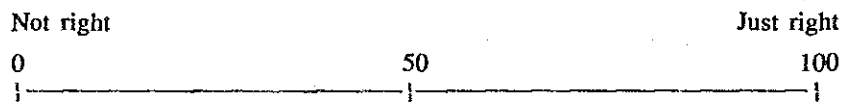
Reason:

GC



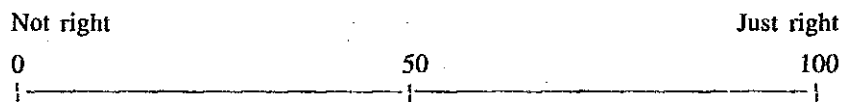
Reason:

7. Invited Countries



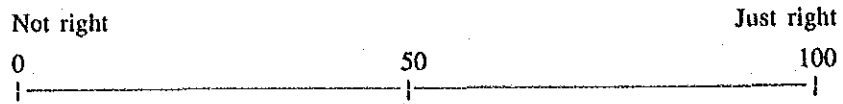
Reason:

8. Number of Participants



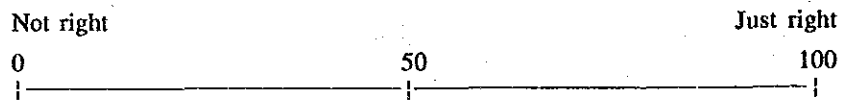
Reason:

9. Qualification of Participants



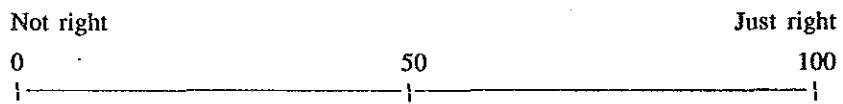
Reason:

10. Applicability of the Training Outcome



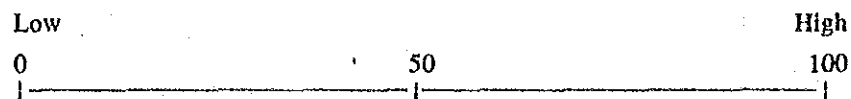
Reason:

11. Effectivity of the Training Outcome



Reason:

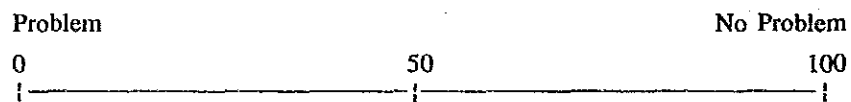
12. Relevancy of the Training Outcome



Reason:

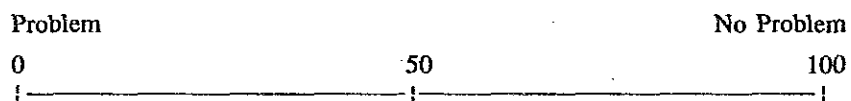
13. Undertaking of the Government of the Republic of Indonesia

a. Invitation of participant procedures



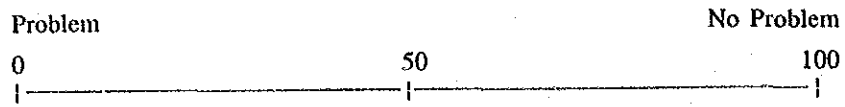
Remarks:

b. Curriculum formation



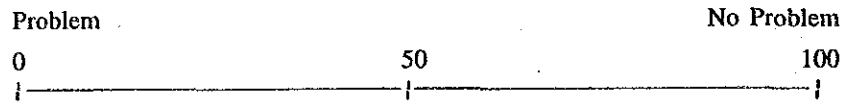
Remarks:

c. Necessary personnel assignment



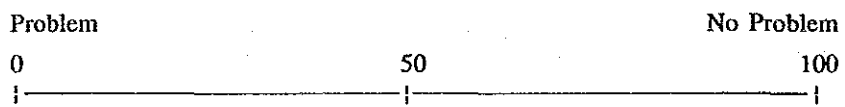
Remarks:

d. Accommodation arrangement



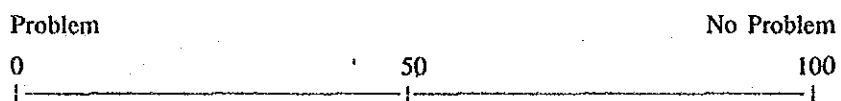
Remarks:

c. Budget Provision



Remarks:

f. Account settlement (Japanese cost)

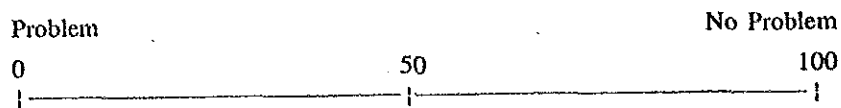


Remarks:

g. Any other points

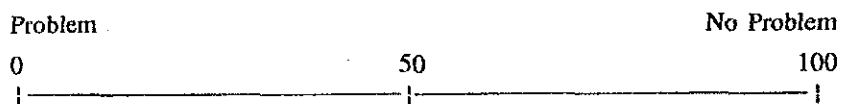
14. Undertaking of the Government of Japan

- a. Dispatch of the experts
(Number, qualification, fields)



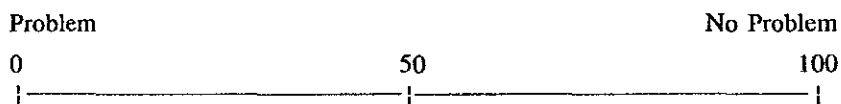
Remarks:

- h. Counterparts training in Japan
(Number, and achievement)



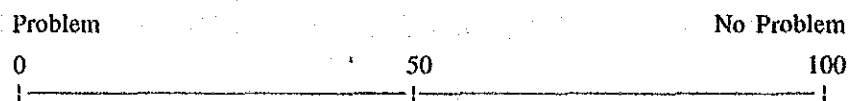
Remarks:

- c. Cost sharing the its procedures



Remarks:

d. Provision of equipment



Remarks:

e. Any other points

THE POINTS OF THE EVALUATION (資料1中のANNEX VIIに対応する)

本コースの目的は要約すれば ①家畜疾病診断技術の向上 ②家畜疾病コントロールの寄与、の二点である。

上記二点の目的に対し以下の各項目について評価したい。

1. Duration Rationality 90点……アンケート結果によると期間が短いとの返答は無視できないものの、参加者の各国における背景は多岐にわたりそのすべての要求を満足させることは無理であること。

D I Cの日常業務、年度末の繁忙期等を考慮するに、D I Cとしては可能な最大限の期間を設定し十分な効果を上げた。

(関連するクエスチョネアの項目)

ANNEX V-Ⅱ-5)P.13 全体期間 : Too Short 42.9%, Just Right 48.0%, too long 8.2%

ANNEX VI-Ⅲ-1-(1)P.18 個別コース : Suitable 56 %, too short 44%

VI-Ⅲ-2-(1)P.18 集団コース : Suitable 75 %, too short 20%, too long 5%

“ (3)P.19 旅行 : Suitable 70 %, too short 30%

V-V-1)P.14 研修成果 : fully 94.9%, little 5.1%

2. Curriculum

- a. Coustitution 85点……ディスカッション不足という意見(47.6%)があるが、全体的には適当。ディスカッションの充実は、割当て時間の拡充及び必要であれば外部講師調達により改善可能。

(関連項目)

P.12V-Ⅱ-3)講義 : too little 22.7%, just right 80.9%, too much 5.2%

討論 : too little 47.6%, just right 44.8%, too much 7.5%

見学 : too little 11.6%, just right 72.5%, too long 15.6%

- b. Leble 95点……十分満足された。

(関連項目)

P.12V-Ⅱ-2)Lebel : too elementary 6.5%, just right 85.9%, too advanced 10.0%

- c. Coverage 95点……十分満足された。

(関連項目)

P.12V-Ⅱ-1)Coverage : incomplete 8.4%, just right 89.0 %, too broad 12.2%

P.14V-Ⅱ-1)Training Outcomes : Little 5.1%, Fully 94.9%

- d. depth 95点

3. Methodology

a. Balance between I C. and G C. 80点……適当である。但し、討論、議義、見学のバランス改善するため、G C中の講義、研究旅行期間ないでそれぞれ2、3日合わせて6日間を討論に割当てたい。

(関連項目) P.12V-Ⅱ-3) 討論: too little 47.6 %

P.18~20VI-Ⅲ-1、VI-Ⅲ-2 内容はI C. G C. 共に100 %満足

b. Individual Course

Lecture 90点……十分満足された。ポゴール家畜衛生研究所、日本人専門家等外部講師による助力を得て、特定の分野 (Bact. Virus. 等) に対する要望に応えたい。

(関連項目) VI-Ⅲ-1-(2)P.18 内容: 100 %満足

Practical Activities 90点……同上。研修員の評価は極めて高いが、さらに改善の余地はあるとの認識

(関連項目) VI-Ⅲ-1-(2)P.18

c. Group Course

Work Shop 80点……期間、内容共に適当であったがさらに討論を充実させる必要有り。討論に割く時間をさらに2日間拡充したい。

(関連項目) VI-Ⅲ-1-(1)(2)P.18

V-Ⅱ-3)P.12

Observation Trip 80点…同上。

(関連項目) VI-Ⅲ-2(3)(4)P.19

V-Ⅱ-3)P.12

4. Learning Materials

Text Book 95点……十分満足された。

(関連項目) V-Ⅲ-1)P.13 Teaching Method : Good 以上100 %

Other Materials 80点……テキストの内容に対応した試薬・機材の一層の充実が望まれるがほぼ満足できた。

(関連項目) V-Ⅲ-1)P.13

VI-Ⅲ-1(2)

VI-Ⅲ-2(2)

5. Equipment

I C 100点……十分

G C 100点…… ” 過去、第三国研修を実施する限りにおいて問題なし。

今後、ラボラトリーの機材を維持管理し、さらに充実させることは本第三国研修を実施の上

が必要であり、JICAの専門家携行機材費と教材費の予算を活用したい。

6. Facilities

IC 100点……問題なし。但し過去の実績参加者数(13~17名)の範囲において。

GC 100点……同上。

7. Invited Countries 100点……妥当。但し定員に達していないことと、強い参加者希望もあり、インドとパキスタンを追加したい。SECA Bより提案のあった東アフリカ諸国(タンザニアとケニア)については、その旨を持ちかえり報告する(調査団言)

(関連項目) ANNEX I P.9

8. Number of Participants 80点……割当数の計画自体は妥当。しかし過去定員に満たなかった。

9. Qualification 95点……適当。例外としてブルネイから獣医師でない研修員1名の参加があった。研修成果を十分なものとするため、今後も現行の資格が適当である。

10. Applicability of the Training Outcome 85点……各国事情の差異を考慮に入れるべき。

(関連項目) V-III-2)P.13 Application : Quite Many 86.4%, Few 13.5%

VI-II-(4)P.16 仕事への利用 : much 以上70%

VI-II-(1)P.16 得た知識 : much 以上85%

VI-II-(2)P.16 技術の向上 : much 以上60%

VI-II-(3)P.16 期待した内容があったか : many 以上55%

V-V-1)P.14 研修成果 : Fully 94.9%, Little 5.1%

11. Effectivity of the Training Outcome 85点……同上

12. Relevancy 85点……10.11を勘案して。

13. Undertaking of the Government of Indonesia

a. Invitaion Procedure 70点……G. I. は外交ルートにて9月に発送しているものの、イ国公館のない国(ブータン、ネパール、フィジー、西サモア、バヌアツ)へは第三国(インド、オーストラリア)を経由せざるをせず、また割当国内での情報伝達の遅滞も存在し、事前に内容を周知できなかった者(22.5%)がいる。D. G. チャンネルによる平行した事前連絡、G. I. の送付をさらに1ヵ月早める等により事前情報の周知徹底を考えるべきである。

(関連項目) V-I-1)P.12 事前情報 : Fully Aware 77.5%, Not aware 22.5%

V-IV-2)P.13 G. I. : GoodI 以上 89.2%, poor 10.8%

b. Curriculum Formation 95点……イ国と他国の家畜衛生分野における環境の分類性及び参加者の反応から判断し問題なし。しかしながら他国からの情報は乏しい状況にあり、Needs Identificationにはさらに留意する必要あり。

c. Necessary Personnel Assignment 95点……teachingスタッフの技術面での問題はないが、英語力に若干問題あり。その他は問題なし。

(関連項目) V-III-1)P.13 教授方法; Good以上100 %

V-VI-1)P.13 コーディネーション; Good以上98.9%

V-VI-3)P.13 研修旅行アレンジ; Good以上100 %

d. Accomodation Arrangement 95点……問題なし。インドネシア人参加者からドミトリーに対する不満がある。

(関連項目) V-IV-4)P.14 宿泊; Good以上96.7%

e. Budget Provision 100点……厳しい予算状況において(とくにここ2年SECABによる本コースへの予算割当ては限定されている)プログラムは変更なく実施された。

('88年6,000,000Rp. '89年7,000,000Rp. ← 要求額の25%)

f. Account Settffement 100点……問題なし。但し、JICAの査定もきびしい。

14. Undertaking of Japan

a. Dispatch of Experts 95点……分野、資格は十分だが、一部で若干の語学上の問題あり。2人要請したが1名のみ派遣のケース有。又、開催前1weekからの派遣が望ましい。

b. Counterparts Training in Japan 評価不能。

TCTP枠にて過去受入れた3名中2名は直接本コースと関係せず、1名は既に転出。しかしながら、スタッフ6名中4名は何らかの機会に日本で研修経験を持ち、その成果は本コースに活用されている。

(関連項目) II P.10 (C/Pリスト)

c. Cost Shaving and its Procedures 100点……問題なし。

(関連項目) III P.11

d. Provision of Equipment 100点

e. Any Other Points.

- ・今後のコース継続を強く希望する。
- ・試薬等、専門家携行機材費、教材費での補充を望む。
- ・未研修者の日本での研修。

RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN
THE JAPANESE CONSULTATION TEAM
and
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF INDONESIA
ON THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME

The Japanese Consultation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by Japan International Cooperation Agency ("JICA") and headed by Mr. Hisashi TERAKADO, visited Indonesia from July 9 to July 18, 1984 for the purpose of formulating the training course in the field of diagnosis of animal diseases and their control programme under the Third Country Training Programme of JICA.

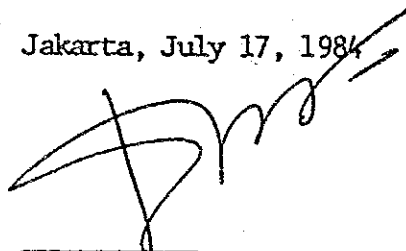
During its stay in Indonesia, the Team had a series of discussions with the authorities concerned of the Government of Republic of Indonesia with respect to the framework of the above-mentioned training course and the desirable measures to be taken by both Governments to ensure its successful operation.

As a result of the discussions, both parties agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the documents attached hereto.

Jakarta, July 17, 1984



Mr. HISASHI TERAKADO
Head of the Japanese
Consultation Team



Dr. DAMAN DANUWIDJAJA
Director General,
Directorate General of
Livestock Services
Ministry of Agriculture

ATTACHED DOCUMENT

The Government of Japan and the Government of the Republic of Indonesia will cooperate with each other in operating the training course in the field of diagnosis of animal diseases and their control programme mainly at Disease Investigation Centre in Medan (hereinafter referred to as "the Course") under the Third Country Training Programme of JICA.

The Government of the Republic of Indonesia will conduct the Course with the support of the technical cooperation scheme of the Government of Japan. The Course will be held once a year from the Japanese fiscal year of 1984 (April 1, 1984 - March 31, 1985) onward, subject to an annual agreement between both Governments.



The Course will be operated in accordance with the followings :

1. T I T L E

The Course will be entitled "International Course on Diagnosis of Animal Diseases and Their Control Programme".

2. P U R P O S E

The purpose of the Course is :

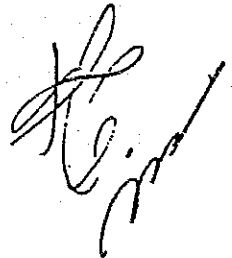
- 2.1. to improve the investigation and diagnostic technologies of veterinary officials in Asia and Pacific Regions and to develop animal disease control programme in the said Regions.

2.2. to contribute to the development and extension of these technologies and to strengthening the integrated animal health control programme in the said Regions.

3. DURATION

The first-year Course will be held from February 4 to February 18, 1985.

The Course on annual basis from the Japanese fiscal year of 1985 onward will be held for a period of four (4) and 5 (five) weeks; two (2) to three (3) weeks for individual course and two (2) weeks for group course.



4. CURRICULUM

The tentative curriculum of the first-year course is attached as ANNEX I.

5. METHODOLOGY

5.1. The First-year course.

The Course will mainly consist of discussions supplemented by lectures, presentation of country reports by participants and observation trips to the institutions and facilities concerned in and around Medan, Bukittinggi and Jakarta.

5.2. The Course from the Japanese fiscal year of 1985 onward will consist of individual course and group course as follows :

5.2.1. Individual course

The course will consist of lectures and practical activities focussing on the basic laboratory diagnostic techniques.

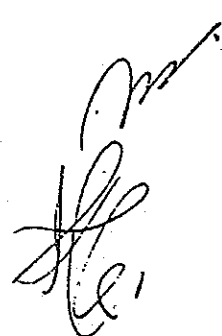
5.2.2. Group course

The course will be conducted in the form of a workshop followed by observation trips to central and/or local institutions and facilities concerned.

6. INVITED COUNTRIES

The Governments of the following countries will be invited to apply for the Course by nominating their applicant(s) :

Brunei, Malaysia, the Philippines, Thailand, Burma, Bangladesh, Sri Lanka, Nepal, Bhutan, Papua New Guinea, Fiji, Western Samoa, Solomon Islands and Vanuatu.



7. NUMBER OF PARTICIPANTS

7.1. The first-year course

The number of participants from the invited countries shall not exceed fifteen (15) in total. And the number of participants from Indonesia shall not exceed five (5).

7.2. The course from the Japanese fiscal year of 1985 onward.

7.2.1. Individual course :

The number of participants from the invited countries shall not exceed five (5) in total. And the number of participants from Indonesia shall not exceed two (2).

7.2.2. Group course :

The number of participants from the invited countries shall not exceed fifteen (15) in total. And the number of participants from Indonesia shall not exceed five (5).

(The number of participants in group course includes all the participants in the individual course).

8. QUALIFICATIONS FOR APPLICANTS

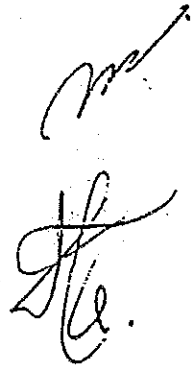
8.1. Applicants for the first-year course are :

8.1.1. To be nominated by their respective Governments in accordance with the procedure mentioned in 10.1 below,

8.1.2. To be university graduates or to have the equivalent academic background,

8.1.3. To be senior veterinary officers engaged in national animal health services,

8.1.4. To have a good command of spoken and written English,

Handwritten signatures and initials in black ink, located on the right side of the page. There are two distinct signatures, one above the other.

8.1.5. To be citizens of the nominating countries,
and

8.1.6. To be in good health to complete the Course.

8.2. Applicants for the course from the Japanese
fiscal year of 1985 onward are :

8.2.1. To be nominated by their respective Govern-
ments in accordance with the procedure men-
tioned in 10.1 below,

8.2.2. To be university graduates or to have the
equivalent academic background,

(Applicants for the individual course):

8.2.3.1. to be veterinary officers who have more
than two years of diagnostic service or
field animal health service experience
in animal diseases,

(Applicants for the group course who will
not participate in the individual course):

8.2.3.2. to be veterinary officers who have more
than five years of administrative work
experience in animal health,

8.2.4. To have a good command of spoken and written
English,

8.2.5. To be citizens of the nominating countries,
and

8.2.6. To be in good health to complete the Course

9. FACILITIES AND INSTITUTIONS

The Course will be conducted mainly at the Disease Investigation Centre in Medan.

10. PROCEDURE OF APPLICATION

10.1. The Government applying for the Course shall forward five (5) copies of the prescribed application form for each nominee to the Government of the Republic of Indonesia through its diplomatic channels not later than two months before the opening of the course.

10.2. The Government of the Republic of Indonesia will inform the applying governments whether or not the applicant(s) is/are accepted for the Course not later than one month before the opening of the course.

11. UNDERTAKING OF BOTH GOVERNMENTS

In organizing and implementing the Course, both Governments will take the following measures in accordance with the relevant laws and regulations in force in each country:

11.1. The Government of the Republic of Indonesia

11.1.1. Cabinet Secretariat

(1) To forward the General Information brochures (G.I.) of the Course to the Governments of the invited countries through its diplomatic channels.

- (2) To receive application forms and forward them to the Directorate General of Livestock Services, Ministry of Agriculture (hereinafter referred to as "the Directorate General"), and
- (3) To notify the respective Governments through its diplomatic channels and the Embassy of Japan in Indonesia of the selection of participants.

11.1.2. The Directorate General

- (1) To formulate the curriculum,
- (2) To draft and print the G.I.,
- (3) To assign an adequate number of its staff as lecturers/instructors for the course,
- (4) To provide its training facilities and equipment for the course,
- (5) To select participants in the course,
- (6) To arrange accommodations for participants,
- (7) To arrange international air tickets for overseas participants and to meet and see them off at the airport,
- (8) To arrange domestic study tour(s) to be included in the course,
- (9) To take budgetary measures to bear the expenses necessary for conducting the course excluding the expenses financed by the Government of Japan,
- (10) To issue certificates to the successful participants at the end of the course,

- (11) To submit a course report and a statement of expenditures to the JICA Jakarta Office (hereinafter referred to as "the JICA Office"), and
- (12) To take any other step for smooth implementation of the course.

11.2. The Government of Japan

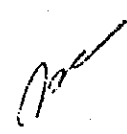
- (1) To dispatch short-term experts who will give advice to Directorate General and deliver lectures for the course, following the regular procedures of its technical cooperation scheme.
- (2) To bear the following expenses for the course through JICA :
 - a) Such expenses relevant to overseas participations as international economy-class flight fare, accommodation, per-diem and medical insurance premiums,
 - b) Such expenses relevant to the Directorate General for operating the course as honoraria and travelling expenses for external lecturers, arrangement of meeting and study tour(s), teaching aids, expendable supplies, copies and reprints, study tour(s) and secretarial services.
- (3) To study provision of equipment necessary for the course in the Japanese fiscal year 1985.

12. PROCEDURE OF REMITTANCE AND EXPENDITURE

The remittance and expenditure of the funds for the expenses to be borne by JICA will be arranged in accordance with the following procedure.

- 12.1. The Directorate General will open a bank account in Indonesia to accept the fund remitted by JICA and inform the JICA Office of the name of bank, account code number, and the name of the account holder.
- 12.2. The Directorate General will submit to the JICA Office a bill of estimate for expenses to be borne by JICA not later than sixty (60) days before the opening of the course.
- 12.3. JICA will assess the estimated bill and remit the assessed amount of expenses to the account mentioned in 12.1. above within thirty (30) days after the receipt of the bill of estimate.
- 12.4. The Directorate General will submit to the JICA Office a statement of expenditures within thirty (30) days after termination of the course.
- 12.5. In case any amount of the fund remitted by JICA remains unspent, the Directorate General will reimburse the unspent amount to JICA in accordance with the instructions given by JICA. The fund allocated for the flight fare, accomodation and per-diem shall not be appropriated for any other purpose.

12.6. By the request of JICA, the Directorate General will make available for JICA's reference, all the receipts and other documentary evidences necessary to certify the expenditure stated in 12.4. above.

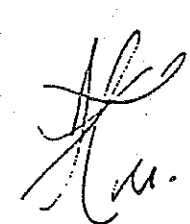


13. This attached document and the following Annexes attached hereto shall be deemed to be the part of the Record of Discussions :

ANNEX I : Tentative Curriculum of the
First-year Course

ANNEX II : Schedule of Course Operation

ANNEX III : Tentative Estimate of Expenses



TENTATIVE CURRICULUM OF THE FIRST-YEAR COURSE

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
				Feb 1	Feb 2	Feb 3
						Arrival at Medan
Feb 4	Feb 5	Feb 6	Feb 7	Feb 8	Feb 9	Feb 10
Opening Ceremony Orientation Introduction Welcome Party	Presentation of Country Reports by Participants -Animal Disease Situation -Diagnostic services -Veterinary Service Organ Structure - Problems in Animal Health Services		Data Analysis and Disease Investigation by Guest Lecturer (Japan) -OtherTopic	Field trip to Medan and surrounding	Move to Padang Study trip to Bukittinggi	Observation in Bukittinggi and surrounding
Feb 11	Feb 12	Feb 13	Feb 14	Feb 15	Feb 16	Feb 17
Move to Jakarta and Bandung	Study trip to Bogor and Bandung areas and move to Jakarta		Preparation for final report (Jakarta)	Presentation of final report and discussion on the topic of future programme		Observation in Jakarta
Feb 18	Feb 19					
Observation in Jakarta Closing ceremony	Departure Jakarta					

SCHEDULE OF COURSE OPERATION

M O N T H	INDONESIAN SIDE	JAPANESE SIDE
Middle July 1984	<ol style="list-style-type: none"> 1. Signing of Record of Discussions 2. Preparation of G.I. 3. Submission of Forms A-1 and A-4. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Signing of Record of Discussions 2. Recruitment of Experts
Middle August	<ol style="list-style-type: none"> 1. Distribution of G.I. & Application Form 	
Early December	<ol style="list-style-type: none"> 1. Opening of Bank Account 2. Submission of Bill of Estimation 3. Receiving of Application Forms 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Submission of B-1 Forms
Early January 1985	<ol style="list-style-type: none"> 1. Notification of the Selection of the Participants 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Dispatch of Experts 2. Remittance of Expenses
February	<ol style="list-style-type: none"> 1. Implementation of Course 	
March	<ol style="list-style-type: none"> 1. Submission of Statement of Expenditures 2. Submission of Course Report 	

No.	ITEM OF EXPENSES	B R E A K D O W N	AMOUNT
	5. <u>Teaching Materials</u>	1. Printing of G.I., Textbook 2,250 2. Stationery 500 3. Communication Fee 250 T O T A L : 3,000	3,000
	6. <u>Transportation for Accompanying</u>		1,000
	7. <u>Miscellaneous</u>		2,000
		GRAND TOTAL :	<u>US\$ 47,690.-</u>

インドネシア農業省畜産総局の継続要請書

DEPARTMENT OF AGRICULTURE
DIRECTORATE GENERAL OF LIVESTOCK SERVICES

16, JALAN SALEMBA RAYA
JAKARTA - INDONESIA

M. Yoneda

Phone : 331859, 334988, 333937.

PO. Box : 402

Telex : 48125 djpkt la

No.: KL.130/243/E/0289

Jakarta, 27 February 1989.

Shocho	Jicho	Jicho		Tanto
6		2		

Mr. Yasuo Kitano
JICA Resident Representative
Jl. Thamrin No. 24
J a k a r t a

Dear Mr. Kitano,

**"INTERNATIONAL COURSE ON DIAGNOSIS OF ANIMAL
DISEASES AND THEIR CONTROL PROGRAMME"**

I would like to refer to the above mentioned subject, in which the fifth course, supposed to be the last course of the agreed programme is underway and will last on March 4, 1989.

The course has been organized based on the Record of Discussions (R/D) signed by the Director General of Livestock Services and the Head of the Japanese Consultation Team of JICA on July 17, 1984. According to this R/D the course can be extended subject to an annual agreement between both Government, Indonesia and Japan. In this respect with regard to the successful courses in the past four years and advantages gained from the courses as expressed by the participants I would like to propose to have the course extended for other 5 years. The arrangement of the proposed extended courses is basically similar to the past courses i.e. an annual basis with necessary adjustments.

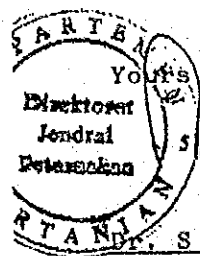
The adjustments would be as follows :

1. Invited Countries.
Considering the fact that no participants from PNG and Vanuatu, it is therefore these two countries are excluded from the programme. Likewise due to the limitation of veterinary officer in Brunei Darussalam, Fiji, Solomon Islands these countries are excluded. Meanwhile because of the strong wish from India and Pakistan these two countries are included in the new programme.
2. Number of Participants.
Total number of participants remain unchanged as previous arrangements i.e. 20 in number comprising of 15 overseas and 5 Indonesia participants. Regarding the Indonesia participants because of the budget limitation hopefully JICA could assist living allowance and air fares from and to their respective places.



3. Duration.
The duration also remains unchanged i.e. for 40 days (8 weeks) divided into : 4 - 5 weeks for Individual Course and 2 - 3 weeks for Group Course.
4. Curriculum.
Basically the curriculum is similar to the previous course only adjustments are needed in accordance with the necessary. It will be further arranged subject to agreement of both sides.

I am most grateful if you could consider this proposal and proceed it to the Japanese Government.



Yours Sincerely,

DR. SOEHADJI
Director General of Livestock Services

- CC.: 1. H.E. Minister of Agriculture, R.I.
2. Chief Bureau of Technical Cooperation, Cabinet Secretariat R.I.
3. Chief Bureau of Foreign Relation, Dept. of Agriculture.
4. Director of Animal Health, DGLS.
5. Director of Livestock Programming, DGLS.

事前ヒアリングに対する各国関係部局の回答

1. タイ

〈タイ農業組合省畜産開発局〉

本第三国研修には、従来より実務経験 2 - 3 年の獣医官を派遣しており基礎的な獣医学の知識及び技術のリフレッシュと海外での研究、研修経験を積み国際的な感覚を養うという面から本研修を評価しており研修の継続をのぞんでいる。タイからの研修員はほとんどが地方のジュニア獣医官であり、海外の獣医官との情報交換の機会に乏しく、本研修をに対しては積極的に参加しようとする意向がある。

また、研修員枠については、年間 3 - 5 名を希望しているが J I C A の予算上の制限枠は了承しており、もし欠員ができた場合には増員を期待する。

研修課題に関しては、1. コンピューターを利用した疫学調査 2. Veterinary Economics (家畜疾病による経済損失の算出) の二点の追加を希望する。

2. バングラデッシュ

〈水産畜産省畜産局〉

本件コースは極めて有用であると認識しており、今後共、本研修コースの継続を希望する。

畜産局管轄下に、Field Diseases Investigation Laboratories が全国に 8 ヶ所あり、ここでの家畜疾病防除に関する業務のため少なくとも 2 人の獣医官を配置する必要がある。このため今後とも獣医官の養成のために 10~15 人を研修させたい。

3. フィリピン

〈農業省畜産局、農業省官房人材養成課〉

(1) 本件第三国研修の評価

- a. 実習を重視した内容にして欲しい。
- b. 分野を絞り、特定の内容で研修をして欲しい。
- c. より長期の研修が望ましい。
- d. 第三国研修という形態は評価する。

(2) 本コース継続の場合の参加意向

- a. 基本的に本研修に対するニーズはある。
- b. 具体的な参加人数は明言できない。

〈事務所コメント〉

上記(1)については概ね妥当と思われるが、(2)については漠然とした人数増加の要望はあるものの、具体的な研修ニーズ、参加希望者数等の把握がなされておらず、本件コースを継続した場合でも急激な割当数の拡大は得策ではなく、せいぜい 1 名程度の増枠が妥当と思料する。

4. 西サモア

〈農林水産省畜産局〉

当国における獣医学に関する限られた人材及び情報の状況を鑑るに、本第三国研修をは地方の獣医官にとって有益な機会であり、今後もひきつづき研修員を送りたい。

5. マレーシア

〈農業省獣医局〉

本第三国研修は、個別コース、集団コース共に有意義であり、本件の継続を希望する。

従来、個別・集団コースのそれぞれにて国からは2名づつ参加できたことに謝意を表すが、一部個別コースに参加希望していた者が集団コースに選考された事例があるので研修員の選考にあたっては各自のバックグラウンドに留意して欲しい。

6. パキスタン

〈食糧農業省畜産局〉

本第三研修を高く評価する。今後4～5年の継続を希望する。

7. インド

〈大蔵省経済局〉

本第三国研修はインド農業調査研究協会 (Indian Council of Agricultural Research Institute)及び州農業大学 (State Agricultural Universities)の家畜衛生分野に従事する研究者にとって有効である。

1989年、1990年は、JICAあるいはSAUSから個別、集団コースのそれぞれに1名づつ候補者を送る。

8. シンガポール

〈国家開発省第一次産業局〉

本第三国研修への参加者は1名(第3回コースに参加、第一次産業局所属の獣医官)のみであるがコースは極めて有益であったと評価している。本コースが継続される場合は毎年1名の枠を希望する。

〈事務所コメント〉

シンガポールでは環境政策優先の見地から畜産の国内振興は行っておらず(むしろ削減の方向)、国内市場向けには近隣諸国当からの輸入に依存する体制となっているが、輸入検疫の観点から防疫技術者の養成は必要と考えられている。

参加研修員リスト

資料 7

第 1 回コース (1985. 2. 3~1985. 2. 19)

No.	Name	Country	Occupation/Address
1.	Dr. C. Nagendram	Malaysia	Assistant Veterinary Officer, State Veterinary, Department Petaling Jaya, Selangor.
2.	Dr. Shahirudin bin Shamsudin	Malaysia	Assistant Veterinary Officer, Veterinary Diagnostic Laboratory, Petaling Jaya, Selangor.
3.	Dr. Picroh Arjsongkoon	Thailand	Assistant Professor in Phatology, Veterinary College, University of Bangkok, Bangkok.
4.	Dr. Sirikarn Hoontrakul	Thailand	Veterinary Officer, Department of Livestock Development, Bangkok.
5.	Dr. Sylvanna Rivadelo Sison	Philippines	Veterinary Diagnostician National Disease Diagnostic Laboratory, Bureau of Animal Industry, MAF, Quezon City.
6.	Dr. Francisca A. Ching	Philippines	Associate Professor & Department Chairperson, Central Luzon State University, Munoz, Nueva Ecija.
7.	Dr. M.S. Mapaguneratne	Sri Lanka	Assistant Director Animal Production and Health, Paradeniya.
8.	Dr. Michael Otto Hansell	Western Samoa	Veterinary Officer, Animal Health and Production Services, Department of Agriculture, Forestry and Fisheries, Apia.
9.	Dr. Md. Azhar Ali miah	Bangladesh	Senior Scientific Officer Field Disease Investigation Laboratory Manikganj Bangladesh
10.	Dr. Md. Kalimullah miah	Bangladesh	Senior Scientific Officer Field Diseases Investigation Laboratory, Feni Bangladesh.
11.	Dr. Budi Triakoso	Indonesia	Head, Animal Disease Investigation Centre Region IV, Yogyakarta.
12.	Dr. H.M. Gaus Siregar	Indonesia	Head, Animal Diseases Investigation Centre Region VII, Maros.
13.	Dr. Seonardi	Indonesia	Head, Animal Diseases Investigation Centre Region II, Bukittinggi.
14.	Dr. Tagor Harahap	Indonesia	Head, Animal Quarantine Services Region II, Jakarta.
15.	Dr. Warman A.R	Indonesia	Head, Animal Health Bureau, Livestock Service of West Java Province, Bandung.

No.	Name	Country	Occupation/Address
1.	U Saw Maw Kyoo*	BURMA	Research Officer, Livestock Breeding & Veterinary Department, Rangoon Burma.
2.	Nichol Nonga*	Solomon Island	Field Officer, Ministry of Agriculture & Lands. Veterinary/Livestock Division, Honiara, Solomon Islands.
3.	Niumaia Tabunakawai*	Fiji	Principal Veterinary Officer, Animal Health & Production Division Ministry of Primary Industries, Suva, Fiji.
4.	Puntsho Wangdi*	Bhutan	Acting Deputy Director, Animal Husbandry Department, Ministry of Agriculture and Forestry, Thimphu, Bhutan.
5.	Mohammad Haman*	Indonesia	Diagnostician B Type Animal Health Laboratory Jambi Province, Jambi, Indonesia.
6.	Syamsiah*	Indonesia	Diagnostician B Type Animal Health Laboratory Aceh Special Region, Banda Aceh, Indonesia.
7.	Palanisamy A/L Karuppanan	Malaysia	Veterinary Officer, Veterinary Research Institute, No. 59, Tiger Lane, 31400, Ipoh, Perak, Malaysia.
8.	Abdul Malek Othman	Malaysia	Assistant Veterinary Officer, Veterinary Officer Gombak, Selangor, 53100 Kuala Lumpur, Malaysia.
9.	Ruenrudee Punyahotra	Thailand	Veterinary Officer, Research Division, Department of Livestock Development Bangkok, Thailand.
10.	Ronachai Juang Pnanich	Thailand	Chief of Saraburee's Veterinary Service Station, 11/5 Phaloyothin RD Amphus Muang, Saraburee Province 18000, Thailand.
11.	L.D.P. Dharmasena	Sri Lanka	Assistant Director, Southern Region Department of Animal Health, Paradenia, Sri Lanka.
12.	Florence D. Silvano	Philippines	Veterinarian, Bureau of Animal Industry, National Animal Disease Diagnostic Laboratory, Upcym Compound, Diliman, Quezon City, Philippines.
13.	Edgardo R. Sison	Philippines	Ditto

No.	Name	Country	Occupation/Address
14.	Abul Quasem	Bangladesh	Veterinary District Livestock Officer Chandpur, Bangladesh.
15.	Bachtiar Murad	Indonesia	Chief Animal Health Division Livestock Services of Riau Province, Pekanbaru, Indonesia.
16.	Intji Inten	Indonesia	Chief Animal Health Division Livestock Service of Jakarta Special Region Jakarta, Indonesia.

第3回コース (1987. 1. 26~1987. 3. 4)

No.	Name	Country	Position	Address
1.	Dr. Titima Varavithya*	Thailand	Lecturer and Chief of Diagnosis laboratory	Nong-Pho Large Animal Hospital Village 8, Banleuk, Potharam Ratchburi 70120, Thailand. Tel. 5895356.
2.	Dr. Naznah Binti Ahmad*	Malaysia	Head of Bacteriology Section Veterinary Diagnostic Petaling Jaya	Nakmal Diagnosa Veteriner Persiaran Barat 46630. Petaling Jaya Malaysia Tel. 03-7575500 Pejabat Pertanian, Bandar Seri Begawan Brunei Darussalam, Telp. 22296/22803.
3.	Dr. Haji Ali Bin* H. Bunter	Brunei Darussalam	Head Laboratory Technique Department of Agriculture Bandar Sri Begawan	Bureau of Animal Industry Ministry of Agriculture and Food Metro Manila, Philippines. Dinas Peternakan DKI Jakarta Jl. Merdeka Selatan 8-9, Jakarta Telp. 370909.
4.	Dr. Florentino G. Sen* Pablo	Philippines	Animal Industry Ministry of Agriculture and Food (Veterinary Officer).	Dinas Peternakan DKI Jakarta Jl. Merdeka Selatan 8-9, Jakarta Telp. 370909.
5.	Dr. Umi Purwanti*		Lab. Technician B Type Diagnostic Laboratory	Merdeka Selatan 8-9, Jakarta Telp. 370909.
6.	Dr. Soedarsono*	Indonesia	Ditto	Lab. Kes. Hewan Malang Jawa Timur
7.	Dr. Yoseph Ahyong Layson	Philippines	Institute Secretary Institute of Veterinary Medicine Gragorio Araneta University Foundation.	Gregorio Araneta University Foundation Institute of Veterinary Medicine Dr. Salvador Araneta Campus Malabon, Metro Manila Philippines Telp. 361 9053/361 9054

No.	Name	Country	Position	Address
8.	Dr. Supol Luengyoslue Chakul	Thailand	Assistant Professor Faculty of Veterinary Science Chulalongkorn University.	Faculty of Veterinary Science, Chulalongkorn University, Bangkok, 10500.
9.	Dr. Ponnampalam Ramanatham	Sri Lanka	Veterinary Surgeon Government Veterinary Office Puttalam, Sri Lanka.	Dept. of Animal Production and Health No. 41, Norgan Road Colombo-02. Sri Lanka.
10.	Dr. Appumamillage Premasiri Wijayasena Nettasinghe	Ditto	Assistant, Director, Dept. of Animal Production and Health.	Ditto
11.	Dr. Faafetai Fata	West Samoa	Veterinary Officer General Animal Health Service Agriculture Department.	Agriculture Department PO Box 206 Apia, Western Samoa
12.	Dr. Kwan Tek Chee	Singapore	Veterinary Officer Primary Production Department.	Primary Production Department Ministry of National Development 8 Storey, National Development Building, Maxwell Road Singapore Telp. 2221211.
13.	Dr. Surachmad	Indonesia	Head, Bureau of Animal Health Livestock Services of Central Java Province	Dinas Peternakan Dati I Propinsi Jawa Tengah Ungaran
14.	Dr. Rusmar Abbas	Indonesia	Head, Bureau of Animal Health Livestok Services of Lampung Province	Dinas Peternakan Dati I Propinsi Lampung Lampung.
15.	Dr. Cory Sibuea	Indonesia	Head, Bureau of Animal Health Livestock Services of North Sumatera Province	Dinas Peternakan Dati I Propinsi Sumatera Utara Medan

第4回コース (1988. 1. 25~1988. 3. 3)

No.	Name	Country	Address
1.	Prapaporn Tungthanatanich*	Thailand	Faculty of Veterinary Medicine, Khon Kaen University 40002, Thailand.
2.	Tavita F. Fesuiai*	Western Samoa	Animal Health Service Livestock, Agriculture, Department Apia Western Samoa.
3.	Sia Chik Hong*	Sarawak/ Malaysia	State Veterinary Diagnostic Laboratory 1st mile, Jalan Muara Tuang, 93250, Kuching, Sarawak, Malaysia.
4.	Manuel Marin Garcia*	Philippines	Department of Agriculture Region 4, Baex Building Diliman, Quezon City, Philippines.
5.	Shree Batsa Man Malla*	Nepal	Livestock Department and Livestock Health Department, Kathmandu, Nepal.
6.	Sri Redjeki*	Indonesia	Livestock Services of South Sumatera Province, Palembang South Sumabera, Indonesia.
7.	Arsentina Panggabean*	Indonesia	Livestock Services of Special Region of Jakarta Raya, Indonesia.
8.	Preecha Wongwicharn	Thailand	Cha-am Animal Quarantine Station Petchkasem rd, Amphur Cha-am Petchburi Province 76120, Thailand.
9.	Baddey Ashton Anita	Solomon Islands	Veterinary Department Ministry of Agriculture & Land Po Box G 13 Honiara, Solomon Islands.
10.	Mechor bin Juinis	Sabah/Malaysia	Animal Disease Research Centre Jabatan Perkhidmatan Haiwan Dan Perusahaan Ternak, P.O. Box No. 59 894557 Tanjung Aru Sabah, Malaysia.
11.	Nem Singh	India	Central Institute for Reserath on Goats, Makhdoom P.O. Farah, Mathura India.
12.	Ilyas Ahmed Khan	Pakistan	Diagnostic Laboratory Livestock & Dairy Development Punjab: 16.- COOPER Road Lahore, Pakistan.
13.	Rosemarie Nacino Antegro	Philippines	Bureau of Animal Industry Laboratory Service Division Visayas, Ave, Diliman Queson City, Philippines 3008.
14.	Hasan Basri Nasution	Indonesia	Directlorate of Animal Health Directorate General of Livestock Services, Department of Agriculture, Jakarta, Indonesia.
15.	Sepakat Ginting	Indonesia	Livestock Services of West Kalimantan Province, Pontianak, Indonesia.

第5回コース (1989, 1, 23~1989, 3, 3)

No.	Name	Country	Position	Address
1.	Dr. Anand Chamking*	Bhutan	Veterinary Officer	Dep. of Animal Husbandry Thimpu, Bhutan.
2.	Dr. Asiah Bin Naima* Mhd. Ali	Malaysia	Veterinary Officer	Maknual Diagnosa Veteriner, Bulut Terah PO Box 63, 14007 Bukit Mertajam -- Seberang Perai.
3.	Dr. Maria V. Abenes*	Philippines	Veterinarian	Bureau of Animal Industry
4.	Dr. Jarersank Salakij*	Thailand	Veterinary Officer	Dep. of Veterinary Medicine Kasetsart University Komphaeng Sean Nakorn Pathom, 73140, Thailand
5.	Dr. M.D. Mokhusur Rahman*	Bangladesh	District Livestock Officer	Naogaon
6.	Mr. Nadan Singh Parki*	Nepal	Veterinary Officer	Vet. Faculty Dep. of Livestock Services.
7.	Drh. Abdul Muthalid*	Indonesia	Animal Health Section	Staff of Livestock Services Nusa Tenggara Barat (NTB)
8.	Drh. Sayoety Noor AR*	Indonesia	Animal Health Section	Staff of Livestock Services Bengkulu.
9.	Dr. Ratre Wongwatcharadumrong	Thailand	Lecturer	Vaculty of Vet. Science Chulalongkorn University
10.	Dr. Sockalingan S/O Chokiyan	Malaysia	Asst. Vet. Officer	State Vet. Office 2400 Kemaman Trengganu, Malaysia.
11.	Dr. Domingo B. Velar	Philippines	Livestock Inspector	Bureau of Animal Industry
12.	Drh. Burhan Abdullah	Indonesia	Animal Health Section	Livestock Services of Control Kalimantan.
13.	Drh. Rukmi R.	Indonesia	Animal Health Section	Livestock Services of Central Sulawesi.

アジア・太平洋諸国における家畜衛生関係者数

(○印：割当国)

NUMBER OF VETERINARIANS AND OF ANIMAL HEALTH AUXILIARY PERSONNEL
 NOMBRE DE VETERINAIRES ET D'AUXILIAIRES DE SANTE ANIMALE
 NUMERO DE VETERINARIOS Y DE AUXILIARES DE SANIDAD ANIMAL

ASIA	A - NUMBER OF VETERINARIANS A - NOMBRE DE VETERINAIRES A - NUMERO DE VETERINARIOS					B - NO. OF ANIMAL HEALTH AUXIL PERSONNEL B - NO. DE AUXILIAIRES DE SANIDAD ANIMAL B - NO. DE AUXILIARES DE SANIDAD ANIMAL			
	A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4
AFGHANISTAN <	280	150	130	15	575	515	55	16	586
BAHRAIN <	11	1	4	11	27	10	7	4	21
○ BANGLADESH	1 098	274	105	17	1 494	540	2 312		2 852
BHUTAN <	10	6		5	21	317		18	335
○ BRUNEI QARUSSALAM	3		1	1	5	5	11	9	25
○ BURMA	1 048	184	788		2 020	919			919
CHINA									
CYPRUS	56		60	67	183	48	50	20	118
HONG KONG	9	2	13	6	30	80	45	160	285
INDIA	24 000	2 400	500	600	27 500	55 500	2 200		57 700
○ INDONESIA	869	430		505	1 804	862			862
IRAN									
IRAQ					n1	411			411
ISRAEL	159	81	140	181	561		55	121	176
JAPAN	8 218	1 580	13 990	2 615	26 403 n2				
JORDAN	143	9	3	85	240				45
KAMPUCHEA DEMOCR.									
KOREA D.P.R.									
KOREA REPUBLIC	634	291	1 235	2 760	4 920				
KUWAIT	52		25	25	102		100	30	130
LADS	9	11		11	31	160	1 000	5	1 165
(*) AHA: WITH 2-3 YEARS TRAINING, WORKING UNDER SUPERVISION OF VETERINARIANS (**) INCLUDING MEAT INSPECTORS << INFORMATION NOT UPTATED			ASA: AVEC 2-3 ANS DE FORMATION, TRAVAILLANT SOUS SUPERVISION DE VETERINAIRES Y COMPRIS INSPECTEURS VIANDES DONNEES PAS MISES A JOUR			ASA: CON 2-3 AÑOS DE FORMACION, TRABAJANDO BAJO SUPERVISION DE VETERINARIOS INCLUYEND INSPECTORES DE CARNE INFORMACION NO ACTUALIZADA			
n1 TOTAL VETS: 3 700, OF WHICH: 618 EMPLOYED BY CENTRAL DEPT. 70% IN MILITARY SERVICE, THE REST IN DIFFERENT SERVICES (50% PRIVATE PRACT. 50% OTHER DEPTS).			TOTAL VETS: 3 700, DONT: 618 EMPLOYES PAR DEPARTEMENT CENTRAL, 70% DANS SERVICE MILITAIRE, LES RESTANTS DANS D'AUTRES SERVICES (50% PRAT PRIVES, 50% AUTRES DEPTS).			TOTAL VETS: 3 700, DE LOS QUE: 618 EMPLEADOS POR DEPTO CENTRAL, 70% EN SERVICIO MILITAR, LOS DEMAS EN OTROS SERVICIOS (50% EJERCICIO PRIVADO, 50% OTROS DEPTOS).			
n2 STATISTICS AS OF END 1986.			STATISTIQUES FIN 1986.			DATOS FIN 1986.			

ASIA	A - NUMBER OF VETERINARIANS A - NOMBRE DE VETERINAIRES A - NUMERO DE VETERINARIOS					B - NO. OF ANIMAL HEALTH AUXIL. PERSONNEL B - NO. D'AUXILIAIRES DE SANTE ANIMALE B - NO. DE AUXILIARES DE SANIDAD ANIMAL			
	A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4
LEBANON	25	11	45		81	102		35	137
MACAU	6		1		7				
○ MALAYSIA (PENINS.)	100	86	104	260	550	138	120	20	278
MALAYSIA (SARAWAK)	16	3	6	4	29	77	77	5	159
MALAYSIA (SARAWAK)									
MONGOLIA									
○ NEPAL	149	13	2	11	175	1 773	116		1 889
OMAN	31	8	1	30	70	45	57	7	109
PAKISTAN					1 996				
○ PHILIPPINES	320	230	939	1 276	2 765	1 574		112	1 686
QATAR	21		1	7	29	8	2		10
SAUDI ARABIA	166				166	267			267
SINGAPORE	8	11	12	11	42	64	39	33	136
○ SRI LANKA	187	25	25	15	252	273	631		904
SYRIA	471	50	1 500	700	2 721	90	400	40	530
○ THAILAND	382				382	720	875	38	1 633
TURKEY	1 763	310	1 000	200	3 273	2 575			2 575
UNITED AR. EMIRATES	36	2	24	2	64	35	17		52
VIET NAM									
YEMEN ARAB REPUBLIC <<	16			29	45	18	186		204
YEMEN P.D.R. <	12	1			13	5	110		115
OCEANIA	A - NUMBER OF VETERINARIANS A - NOMBRE DE VETERINAIRES A - NUMERO DE VETERINARIOS					B - NO. OF ANIMAL HEALTH AUXIL PERSONNEL B - NO. D'AUXILIAIRES DE SANTE ANIMALE B - NO. DE AUXILIARES DE SANIDAD ANIMAL			
	A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4
AUSTRALIA	658	541	3 423	403	5 025	773	183	1 805	2 761
EAST TIMOR									
○ FIJI <	8		1		9	100		11	111
FRENCH POLYNESIA	5	1	6	3	15	6	6	9	21
NEW CALEDONIA	14		5	8	27	13		7	20
NEW ZEALAND	233	58	792	249	1 332	240		1 086	1 326
○ PAPUA NEW GUINEA <	9	1	2	1	13	3		12	15
○ SAMOA <	3				3		4	3	7
○ SOLOMON ISLAND <	2				2	7			7
TONGA <	2		1		nl 3		8		8
○ VANUATU	5			1	6	8	40	7	55
<p>(*) AHA: WITH 2-3 YEARS TRAINING, WORKING UNDER SUPERVISION OF VETERINARIANS (**) INCLUDING MEAT INSPECTORS << INFORMATION NOT UPDATED</p> <p>ASA: AVEC 2-3 ANS DE FORMATION, TRAVAILLANT SOUS SUPERVISION DE VETERINAIRES Y COMPRIS INSPECTEURS VIANDES DONNEES PAS MISES A JOUR</p> <p>ASA: CON 2-3 AÑOS DE FORMACION, TRABAJANDO BAJO SUPERVISION DE VETERINARIOS INCLUYEND INSPECTORES DE CARNE INFORMACION NO ACTUALIZADA</p>									
<p>nl ACTING ALSO AS MEAT INSPECTORS. TRAVAILLANT AUSSI COMME INSPECTEURS DES VIANDES. TRABAJANDO TAMBIEN COMO INSPECTORES DE CARNE.</p>									

JICA

181